

# KENWOOD

オーディオ ビデオサラウンドレシーバー

## KR-V888D

### 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。  
また、この取扱説明書は大切に保管してください。  
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド  
KENWOOD CORPORATION

本説明書の他に、取扱説明書・別冊『安全上のご注意』が付属されています。  
使用者の安全のため、必ず別冊の内容もお読みの上ご使用ください。

#### 付属のリモコンについて

本機のリモコンは、従来のリモコンに比べて多くの操作モードを持っています。  
リモコンを有効に使用するためにも取扱説明書をよくお読みになり、リモコンのしくみ、操作モードの切り換えかたなどをよくご理解の上でご使用ください。  
リモコンのしくみ、操作モードの切り換えかたを知らないまま操作すると、正しく操作できないことがあります。

## メンテナンス

- 前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。
- 接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。とくにオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を变形させることがあります。

## ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



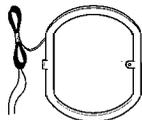
## 付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

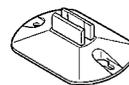
FM 室内アンテナ(1本)



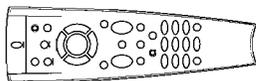
AM ループアンテナ(1本)



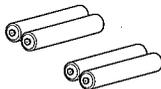
AM ループアンテナスタンド(1個)



リモートコントロールユニット(1個)



リモコン用単4乾電池(4本)



# 目次

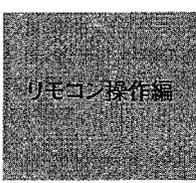
⚠ マークのついている頁は安全確保のために必ずお読みください。



はじめに	2
はじめに	2
付属品	2
本機の特長	4
取扱説明書の使用方法	5
各部のなまえと働き	6
接続のしかた	8
アンテナの接続	8
オーディオ機器の接続	9
ビデオ機器の接続	10
デジタル機器の接続	11
システムコントロール接続	12
スピーカーの接続	13
リモコンの準備	14
サラウンド再生の準備をする	15
OSD (On Screen Display) の使いかた	15
サラウンドを設定する (サラウンドセットアップ)	16



再生のしかた	18
普通の再生	18
音の調節のしかた	19
録音 (録画) のしかた	22
録音のしかた	22
録画のしかた	22
放送を聴く	23
放送を受信する	23
周波数を指定して受信する	24
放送局を記憶させる	25
記憶させた放送局を受信する	25
記憶させた放送局を順に聴く (P.CALL)	25
臨場感を楽しむ	26
サウンドモードの種類	26
サラウンド再生	28



リモコンを最も有効に使うために	31
他の機器のセットアップコードを登録する	31
他の機器を操作する	33
リモコンの操作モードを切り換える	34
自動操作の準備をする (マクロプレイ)	35
自動操作を実行する	37
セットアップコードの削除・確認	38



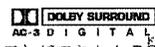
セットアップコード表	39
故障と思われる症状ですが……	43
△ 定格	45
他の機器をリモコンで操作する	46
保証とアフターサービス	48

## 多彩なホームシアター機能

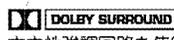
本機には、ご家庭で映像ソフトを十分に楽しんでいただくために多彩なサラウンドモードを用意しています。お手持ちの機器や、再生する映像ソフトに合わせてモードを選び、お楽しみください。

- [26]

### ドルビー デジタル DOLBY DIGITAL (AC-3)

マークのついたLDソフトやドルビー デジタル (AC-3) フォーマットのデジタル信号の入力を、デジタルサラウンドで楽しむことができます。DOLBY DIGITAL (AC-3) フォーマットでは、最大5.1チャンネルのデジタル信号が独立して入力されるので、従来のドルビーサラウンドに比べて、圧倒的に高音質で迫力ある臨場感を楽しむことができます。

### ドルビー プロ ロジック & ドルビー ステレオ DOLBY PRO LOGIC & DOLBY 3 STEREO

マークのついた映像ソフトを、映画館と同じような音響効果で再現するサラウンドシステムです。方向性強調回路を使用することにより、フロント、センター、リアの音声信号をコントロールし、音の移動感をリアルに再現します。また、DOLBY 3 STEREOは、方向性強調回路を使用することにより、フロント、センタースピーカーだけで、音像の定位をよくなり、音の移動感を再現します。

### 新 DSP サラウンドモード

本機で使用しているDSP (デジタル・サラウンド・プロセッサー) は、"ARENA"、"JAZZ CLUB"、"STADIUM"、"CHURCH"、"THEATER"などの高音質で調整可能な音場効果を内蔵しています。これらの音場効果は、オリジナルの信号に劇場やジャズクラブ、スタジアムなどの臨場感を与え、リスニングルームに次元の広がった感覚を与えます。内蔵されている音場効果は、どんなプログラムソースにも対応しています。

## ユニバーサル IR (赤外線) リモコン

本機に付属しているリモコンで、基本的な本体の操作およびオンスクリーンディスプレイ (OSD) 操作に加えて、本機に接続したオーディオやビデオ機器の操作もできます。簡単な設定手順で接続した機器を登録できます。

- [31]

### 2つの赤外線送信部

付属のリモコンは2個の赤外線送信部を備えています。一方は長い距離にわたる直線方向に信号を送信し、本機や他の機器を遠くからでも操作できるようにします。もう一方は近い距離で広範囲にわたって信号を分散して送信するもので、リモコンを操作する機器にまっすぐ向けなくても、近くなら操作が行えるようにします。

- [14]

### マクロプレイ

本機のリモコンで操作できる内容を登録しておくことができます。LD プレーヤーを再生するとき、ビデオデッキを再生するときなど、目的にあわせてあらかじめ操作内容を設定しておく、リモコンのキーを押すだけで、関連機器の電源オンや入力の選択などの基本操作を自動に行うことができます。(マクロプレイに機器の操作を登録するときは、お手持ちの機器のリモコンのセットアップコードを登録しておく必要があります。)

- [35]

## オンスクリーンディスプレイ (OSD) による簡単なサラウンドの設定と操作

この機能は、ご使用のモニターテレビを利用してサラウンドの設定を簡単にし、使用しているスピーカーシステム、リスニング環境の設定をスムーズにします。OSDは再生中に使用してDSPサラウンドモードをお好みの設定にするときなどにも利用できます。

- [15]

## 新トランジスタ トレイト TRAITR をファイナル段に採用

電力増幅部ファイナル段に温度追従特性に優れた新トランジスタ TRAITR を採用しました。新トランジスタ TRAITR は温度補償用トランジスタとエミッタ抵抗、およびファイナルトランジスタを一体型としたもので、理想的な温度補償特性が得られ、温度変化を原因とする歪みを最小限に抑えることができます。

# 取扱説明書の使用方法

本書は、準備、操作、リモコン操作、その他、の4つの章に分かれています。

## 準備

お手持ちのオーディオおよびビデオ機器との接続のしかたや、サラウンド設定などの準備のしかたを示してあります。  
お手持ちのオーディオやビデオ機器によっては、接続がとて複雑になることがありますので、取扱説明書をよくお読みのうえ、接続してください。

## 操作

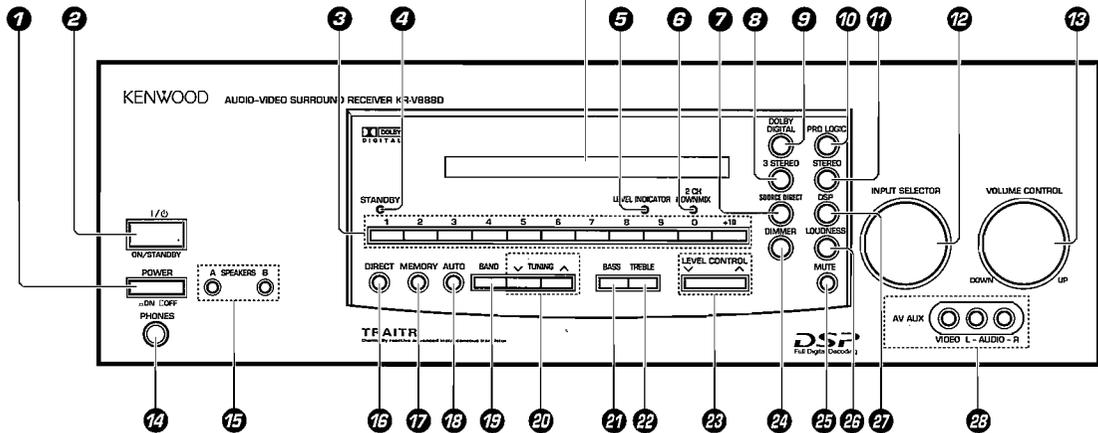
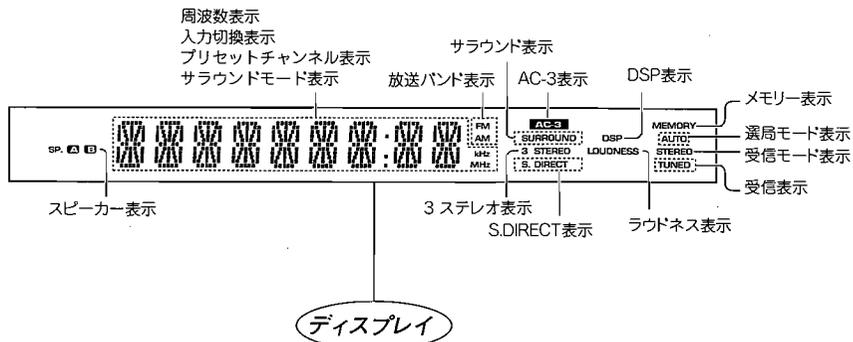
本機で使用できる各種機能の操作方法を示してあります。

## リモコン操作

リモコンで使用できる各種機能の操作方法を示してあります。  
本機とお手持ちのオーディオ、ビデオ機器(テレビやビデオ、LDプレーヤー、CDプレーヤー等)を、1つのシステムとして、本機に付属のリモコンで操作できるようにしました。リモコンを使ってこれらの機器を操作する前に、適切なセットアップコードをリモコンに登録しておきます。

## その他

ご使用になる他の機器の登録用セットアップコード表、故障と思われる症状ですが…、定格、登録した機器で利用できるリモコン操作の早見表などを示してあります。  
ご使用になる他の機器を操作する前に、この早見表を読んでおくことをおすすめします。



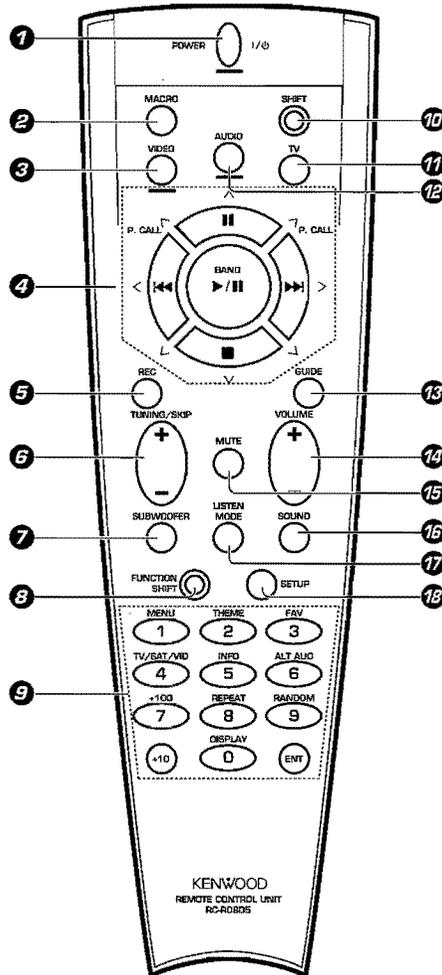
- ① **POWER** キー  
主電源のオン/オフを切り換えます。 - [18]
- ② **ON/STANDBY** (1/0) キー  
主電源がオンのとき、スタンバイ状態のオン/オフを切り換えます。 - [18]
- ③ **数字** キー  
スタンバイインジケータ
- ④ **STANDBY** インジケータ
- ⑤ **LEVEL** インジケータ  
信号の入力が大きすぎるときに点灯します。 - [17]
- ⑥ **2 CH DOWNMIX** インジケータ  
ドルビーデジタル(AC-3)フォーマットの信号が2チャンネルステレオにダウンミックスされると点灯します。
- ⑦ **SOURCE DIRECT** キー  
ソースダイレクト - [20]
- ⑧ **DOLBY 3 STEREO** キー  
ドルビー3ステレオをオンにします。 - [28]
- ⑨ **DOLBY DIGITAL** キー  
ドルビーデジタル(AC-3)をオンにします。 - [28]
- ⑩ **PRO LOGIC** キー  
ドルビープロロジックをオンにします。 - [28]

- ⑪ **STEREO** キー  
サラウンドモードを解除します。 - [18]
- ⑫ **INPUT SELECTOR** つまみ  
入力を切り換えます。 - [18]
- ⑬ **VOLUME CONTROL** つまみ  
ボリュームコントロール - [18]
- ⑭ **PHONES** 端子  
ヘッドホンで聴くときに使います。 - [20]
- ⑮ **SPEAKERS A/B** キー  
スピーカーのオン/オフを切り換えます。 - [18]
- ⑯ **DIRECT** キー  
放送局を数字入力で受信するときに使います。 - [24]
- ⑰ **MEMORY** キー  
放送局を登録するときに使います。 - [25]
- ⑱ **AUTO** キー  
選局モードを選ぶときに使います。 - [23]
- ⑲ **BAND** キー  
放送バンドを切り換えます。 - [23]
- ⑳ **TUNING** キー  
受信する放送局を選びます。 - [23]

- ㉑ **BASS** キー  
低音を調節します。 - [19]
- ㉒ **TREBLE** キー  
高音を調節します。 - [19]
- ㉓ **LEVEL CONTROL** キー  
トーンレベルを調節します。 - [19]
- ㉔ **DIMMER** キー  
ディスプレイの明るさを調節します。 - [19]
- ㉕ **MUTE** キー  
一時的に音を消します。 - [19]
- ㉖ **LOUDNESS** キー  
音量が小さいときに、低音と高音を増強するのに使います。 - [19]
- ㉗ **DSP** キー  
DSPモードをオンにして、押す度にモードを切り換えます。 - [27]
- ㉘ **AV AUX** 端子  
 - [10]

## スタンバイ STANDBY 表示について

本機ではスタンバイ表示がついています。このスタンバイ表示が点灯しているときは、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といえます。このとき、リモコン操作によっても電源のオン/オフができます。



- ① **POWER** キー - [32]  
本機の電源のオン/オフを切り換えます。入力切換(AUDIO、VIDEOまたはTV)キーおよびSHIFTキーと組み合わせて使用し、各機器の電源をオン/オフします。
- ② **MACRO** キー - [35]  
AUDIO、VIDEOまたはTVキーなどを組み合わせて使用し、一連の操作を自動的に実行します(マクロプレイ)。
- ③ **VIDEO** セレクターキー - [31]  
ビデオ入力(VIDEO 1、VIDEO 2、VIDEO 3、VIDEO 4、AV AUX)を選択し、リモコンは各入力に登録された機器を操作するモードになります。
- ④ **マルチコントロール** キー - [46]  
選択した機器の操作およびオンスクリーン表示の操作します。
- ⑤ **REC** キー - [46]  
選択した機器を操作します。
- ⑥ **TUNING/SKIP** キー - [18]、[46]  
いろいろな設定に使用します。チューナーまたは選択した機器を操作します。
- ⑦ **SUBWOOFER** キー - [30]  
VOLUME +/-キーと組み合わせて使用し、サブウーファースの音量を調節します。

- ⑧ **FUNCTION SHIFT** キー - [46]  
数字キーと組み合わせて使用し、数字キーの上部に印刷された機能を実行します。
- ⑨ **数字** キー - [46]  
操作している機器に付属のリモコンと一致する機能です。キーの上部に印刷された機能を行うには、FUNCTION SHIFTキーを押して3秒以内に操作したいキーを押します。利用できる機能は機器によって異なります。
- ⑩ **SHIFT** キー - [34]  
入力切換を変えずにリモコンの操作モードを変えるために、AUDIOおよびVIDEOキーと組み合わせて使用します。また、リモコンにプログラムされた機器の電源をオン/オフするためにPOWERキーと組み合わせて使用することもできます。
- ⑪ **TV** セレクターキー - [31]  
リモコンでテレビなどを操作するように設定します。このキーでは本機の入力切換は変わりません。
- ⑫ **AUDIO** セレクターキー - [31]  
オーディオ入力(CD、TAPE/MD、TUNER、PHONO)を選択し、オーディオ機器を操作するモードになります。オーディオ機器をTAPE/MDまたはCD端子に接続した場合は、各入力に対し、適切なセットアップコードを登録することによって、リモコンでこれらの機器を操作できるようになります。

- ⑬ **GUIDE** キー - [47]  
登録した機器の操作に使用します。
- ⑭ **VOLUME** キー - [18]  
本機の音量を調節します。
- ⑮ **MUTE** キー - [19]  
音を一時的に消します。
- ⑯ **SOUND** キー - [28]  
オンスクリーンサウンド表示をオンにし、リモコンでオンスクリーン表示中のカーソルを操作するモードになります。
- ⑰ **LISTEN MODE** キー - [30]  
希望するサラウンドモードを選択します。
- ⑱ **SETUP** キー - [16]  
オンスクリーンセットアップ表示を起動し、リモコンでオンスクリーン表示中のカーソルを操作するモードになります。

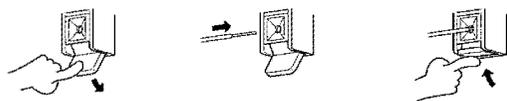
## 8 アンテナの接続

図のように接続してください。

接続が完了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。

### アンテナ端子の接続のしかた

- ① レバーを押す      ② コードを差し込む      ③ レバーを戻す

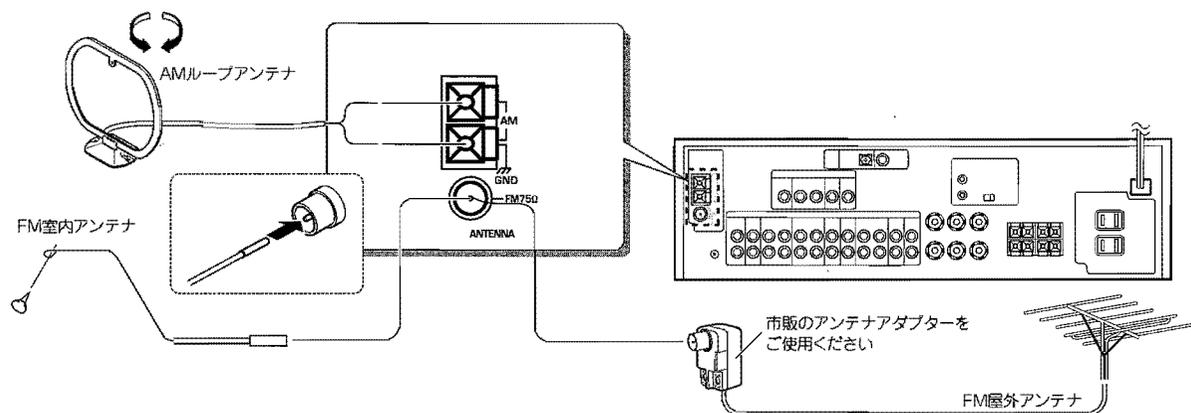


### ⚠ 注意 屋外アンテナ設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

## AMループアンテナの接続

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで受信状態の一番よい方向に向けます。



## FM室内アンテナの接続

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナの使用をお勧めします。屋外アンテナを接続したら、室内用アンテナは取り外してください。

## FM屋外アンテナの接続

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引き込み、FM75Ω端子に接続します。

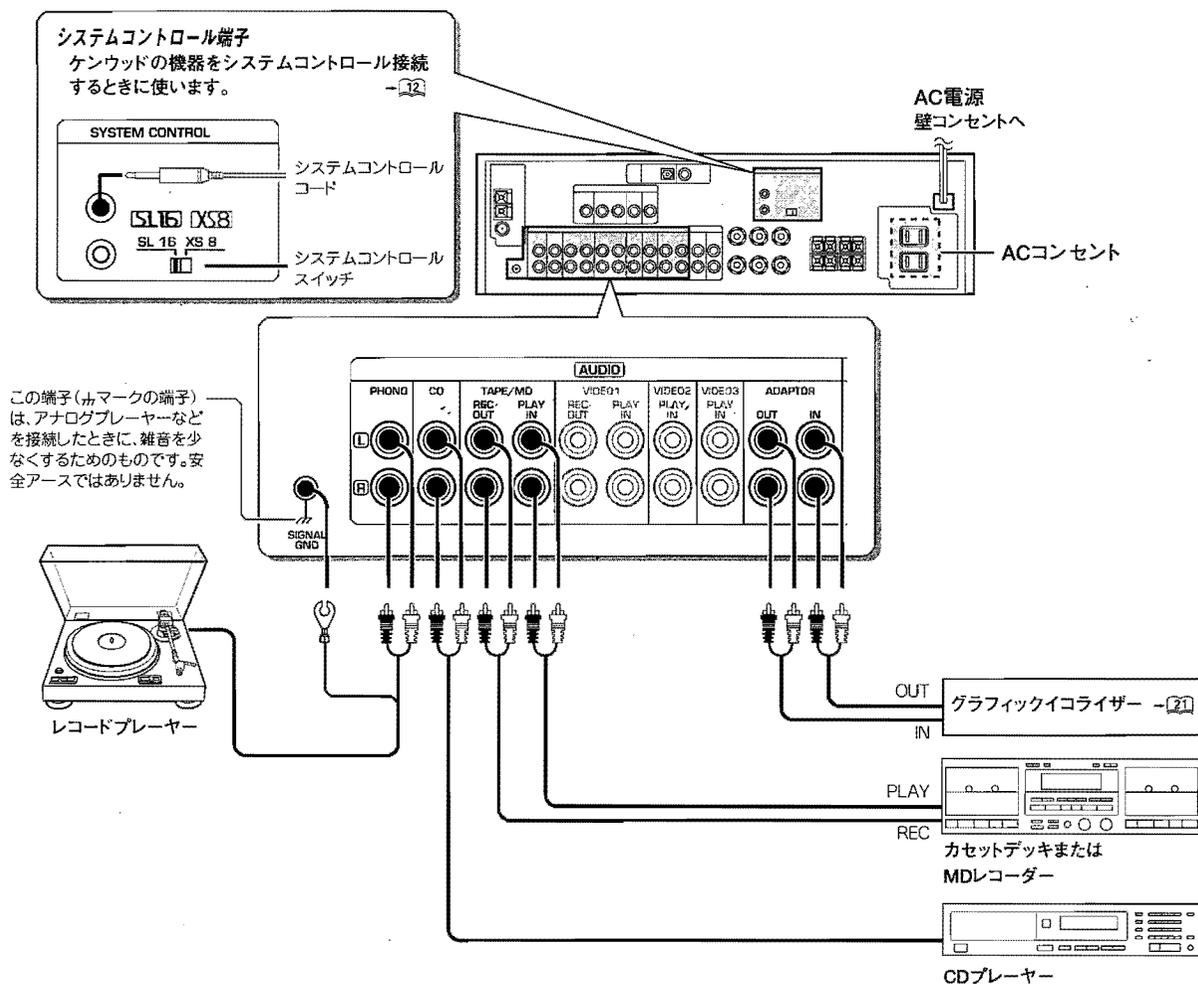
# オーディオ機器の接続

**△ 注意** 接続をするときは、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。機器の接続は下図のように行ってください。

関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

## マイコンの誤動作について

正しく接続したのに操作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障と思われる症状ですが…」を参照してマイコンをリセットしてください。 - (43)



この端子(カマークの端子)は、アナログプレーヤーなどを接続したときに、雑音を少なくするためのものです。安全アースではありません。



## 電源コードの接続

本機のAC電源コードの片側には、白線マークが施されています。AC電源コンセントへの差し込みは、白線マーク側をコンセント差し込み口の長い方に合わせるのが一般的ですが、接続される機器によっても様々ではありませんので、比較視聴のうえ良い方をお選びください。当社製品のAC電源コンセントの(○)マークは、AC電源コードの白線マークと同じ極性を示しています。なお、従来通り極性にとらわれずに接続されても結構です。

## △ 警告 ACコンセント

背面のACコンセントが供給できる電力は100Wまでです。接続する装置の消費電力の合計が100Wを超えないようにしてください。火災の原因になります。電熱器具、ヘアドライヤー、電磁調理器などは接続しないでください。また、供給電力以内であっても、テレビなど電源を入れたときに大電流が流れる機器は使用しないでください。

1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、音がでなくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。

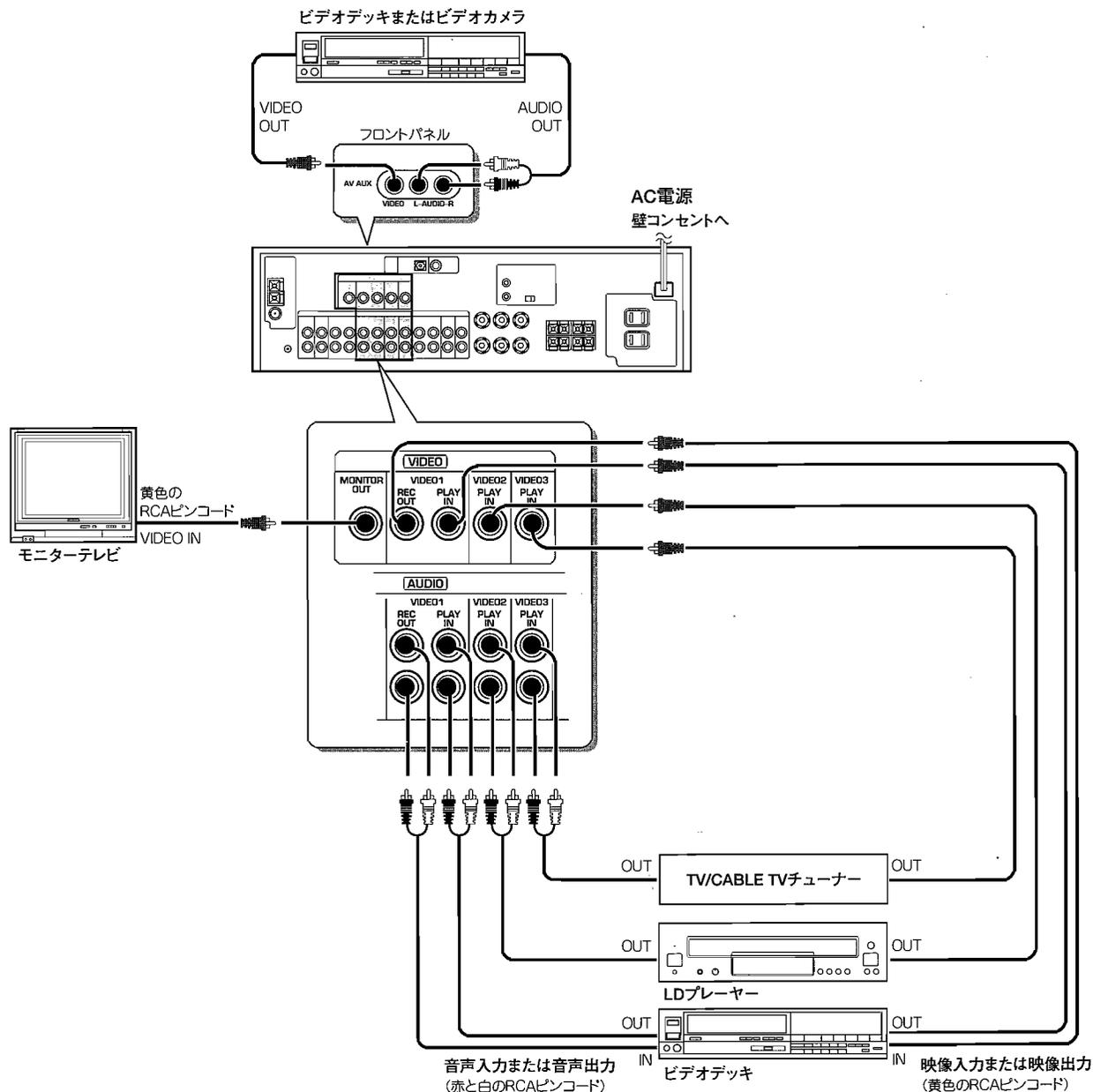
# ビデオ機器の接続

準備編

図のように接続してください。

関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

接続が完了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。



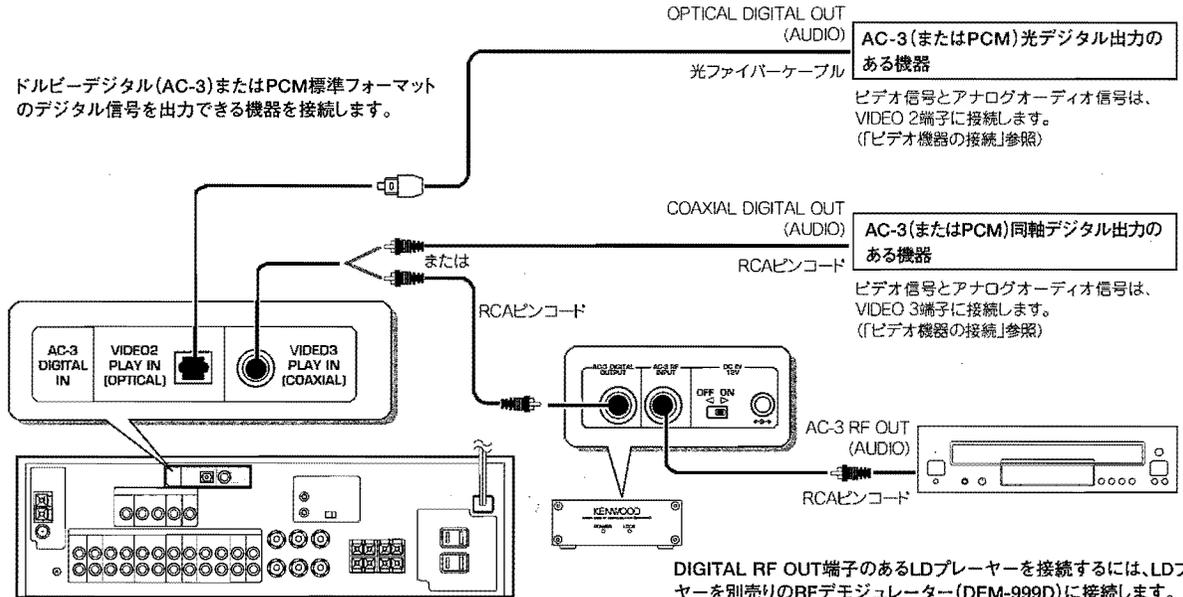
# デジタル機器の接続

図のように接続してください。

デジタル入力端子はドルビーデジタル (AC-3) または PCM 信号のどちらかで使用できます (入力信号は自動的に検出されます)。

関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

接続が完了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。



**AC-3 (または PCM) 光デジタル出力のある機器**  
ビデオ信号とアナログオーディオ信号は、VIDEO 2端子に接続します。  
〔ビデオ機器の接続〕参照

**AC-3 (または PCM) 同軸デジタル出力のある機器**  
ビデオ信号とアナログオーディオ信号は、VIDEO 3端子に接続します。  
〔ビデオ機器の接続〕参照

DIGITAL RF OUT端子のあるLDプレーヤーを接続するには、LDプレーヤーを別売りのRFデモジュレーター (DEM-999D) に接続します。それから、デモジュレーターをVIDEO 3 DIGITAL IN端子に接続します。ビデオ信号とアナログオーディオ信号をVIDEO 3端子に接続します。  
〔ビデオ機器の接続〕参照

## AC-3 RF デモジュレーター DEM-999D (別売り)



- ① **POWER** インジケータ  
電源 (●) がオンになると点灯 (赤色) します。
- ② **LOCK** インジケータ  
AC-3 RF 信号が AC-3 RF INPUT 端子 (●) に入力されると点灯します。
- ③ **AC-3 DIGITAL OUTPUT** (同軸)  
この端子と本機の同軸 AC-3 DIGITAL IN 端子を接続します。POWER (●) がオンのとき、AC-3 RF INPUT 端子 (●) に AC-3 RF 信号が入力されると、AC-3 同軸デジタル信号を出力します。

- ④ **AC-3 RF INPUT**  
この端子とご使用の LD プレーヤーの AC-3 RF OUTPUT 端子を接続します。
- ⑤ **POWER** スイッチ  
電源をオン/オフします。
- ⑥ **DC IN (12V)** 端子  
デモジュレーターに付属の、AC アダプターにつないだインレット式の電源コードを接続します。他のすべての接続を終えてから、電源コードを壁のコンセントに接続します。

デモジュレーターの AC アダプターは本機やデモジュレーター、アンテナ等から遠ざけておいてください。

# システムコントロール接続

ケンウッドのオーディオコンポーネントシステムを接続したとき、システムコントロールコードを接続することで、便利な機器相互間のシステムコントロール動作が可能になります。

ケンウッドのシステムコントロールには、2種類のモードがあります。下記の端子記号の組み合わせ例にしたがって接続してください。

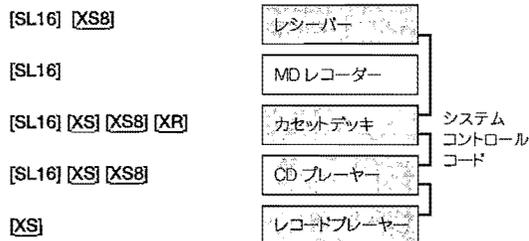
[XS8]のモード:[XS],[XS8],[XR]の組み合わせができます。

[SL16]のモード:[SL16]のみの組み合わせです。

本機は[SL16]と[XS8]の両方に対応しています。出荷時の状態は[SL16]です。[XS8]のモードにするときは、「[XS8]と[SL16]の切り換えかた」にしたがってモードを切り換えてください。

## [XS8]モードでの接続例

下線部が選ばれているシステムコントロールモードを示します。



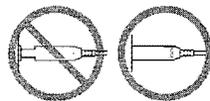
## [SL16]モードでの接続例

下線部が選ばれているシステムコントロールモードを示します。



- システムコントロールを使うには、各機器を各機器の端子に正しく接続してください。CDプレーヤーを使う場合はCD端子に、カセットデッキまたはMDレコーダーを使う場合は、TAPE/MD端子に接続してください。1台以上のCDプレーヤーを接続する場合などは、CD端子につないだ1台だけをシステムコントロールできます。
- CDプレーヤー、カセットデッキには、[SL16]モードに対応している機器と対応していない機器があります。対応していない機器をシステム接続したときは、システムコントロールモードを[XS8]モードで接続してください。
- MDレコーダーには、システムコントロールに対応していない機器があります。これらの機器はシステムコントロール接続はできません。

1. [SL16]と[XR],[XS],[XS8]等とのシステム動作の組み合わせはできません。もし、このような組み合わせであった場合は、システムコントロールコードは接続しないでください。システムコントロールを接続しなくても、通常の性能、操作性が損なわれることはありません。
2. 当社指定以外の機器との接続は、故障の原因となりますのでおやめください。
3. システムコントロールプラグは根元まで差し込んでください。



## システムコントロール動作について

### リモートコントロール

本機に付属するシステムリモコンで、ソース機器を操作することができます。

### オートマッチックオペレーション([XR]の機器を除く)

ソース機器側の再生を始めると、本機の入力切換が自動的にその機器の入力切換に切り換わります。

### シンクロ録音([XR]の機器を除く)

CD、MD、アナログディスクを録音するときに、プレーヤーの再生を始めると、連動して録音をスタートさせることができます。

## [XS8]と[SL16]の切り換えかた

本体後面のシステムコントロールスイッチで簡単にモードを切り換えることができます。

この操作はすべての接続が完了してから行ってください。

[SL16]に戻すとき **SL 16** [XS8]にするとき



- これらの切り換えをしても、各種の記憶内容は保持されます。
- システムコントロールモードを切り換えた後は、新しい設定内容を確定するため、一度電源をオフにしてから、もう一度電源をオンにしてください。

## ケンウッドのオーディオ機器をセットアップコードで操作できます

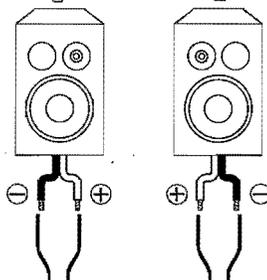
- システムコントロール接続が完了したら、必ず各機器のセットアップコードを登録してください。 - [31]
- リモコンで操作できるケンウッドのオーディオ機器で、システムコントロールに対応していない(または他のシステムコントロールした機器に連動しない)ものをお持ちの場合は、セットアップコードを登録することで、システムコントロールコードを接続しなくても、本機に付属のリモコンでこれらの機器を操作することができます。セットアップコードを登録するには、「他の機器のセットアップコードを登録する」をご覧ください。 - [31]

# スピーカーの接続

① コードの被覆をむく ② ゆるめる ③ コードを差し込む ④ しめる

- スピーカーコードの十と一は絶対にショートさせないでください。
- 左右を逆にしたり、極性を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりせず、不自然な音になります。正しく接続してください。

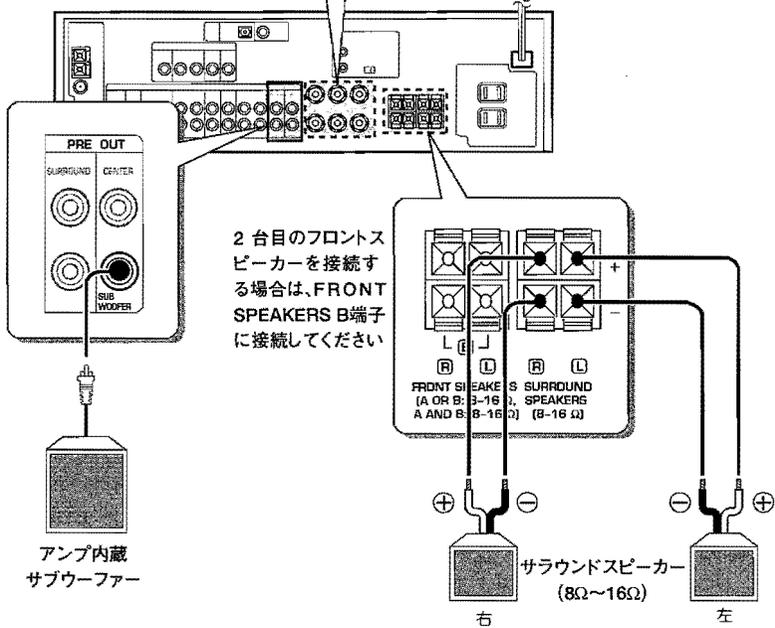
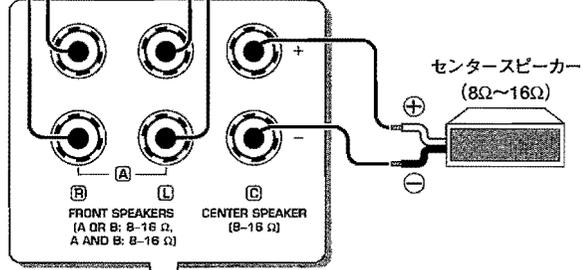
## フロントスピーカーシステム A (8Ω~16Ω)



### バナナプラグの接続

① しめる ② プラグを差し込む

● スピーカー端子を完全にしめていないと、音が出ない場合があります。



2 台目のフロントスピーカーを接続する場合は、FRONT SPEAKERS B端子に接続してください

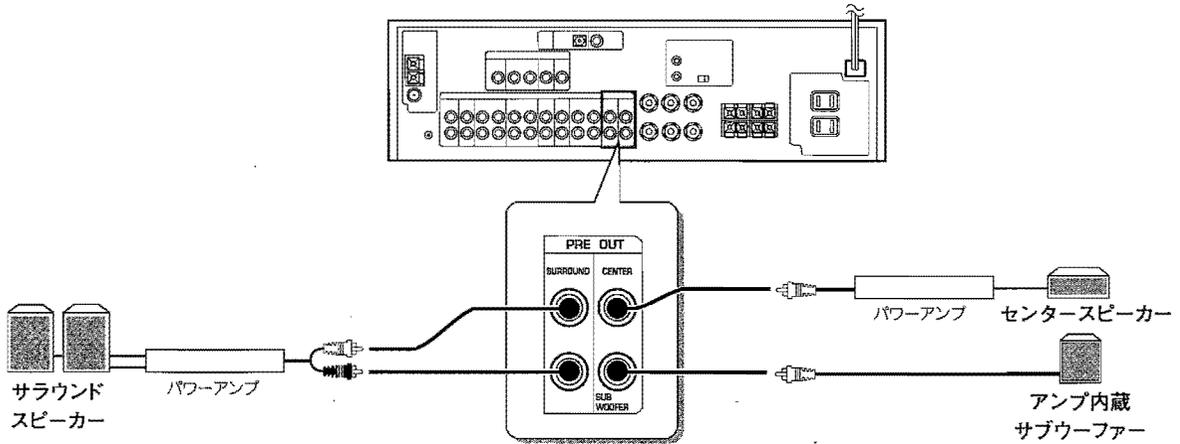
(必ず両方のサラウンドスピーカーを接続してください。)

アンプ内蔵サブウーファー

サラウンドスピーカー (8Ω~16Ω)

## プリアウトの接続

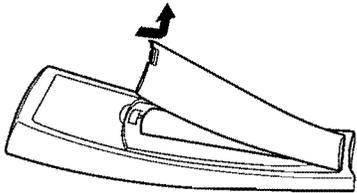
本機はPRE OUT端子を備えています。これらの端子はいろいろな目的で使われますが、下記の例のようにパワーアンプを接続する必要があります。スピーカーコードをPRE OUT端子に接続しても、スピーカーからは音は出ません。PRE OUT端子を使用するときは、SPEAKERSキー(AまたはB)をオンにしてください。



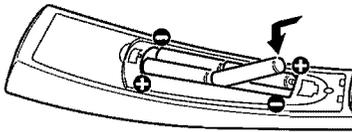
## リモコンの準備

### 電池を入れる

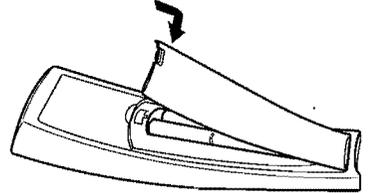
① ふたを開ける



② 電池を入れる



③ ふたを閉める



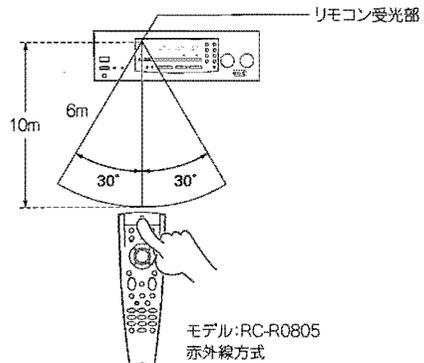
●単4乾電池(LR03/UM4)4本を極性マークにしたがって入れる。



1. 付属の乾電池は、動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったり、キーを押したときに5回リモコンのキーが点滅したら、4個とも新しい電池と交換してください。リモコンは電池を取り換えている間でも、セットアップコードのメモリーを保持するように設計されています。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式など)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

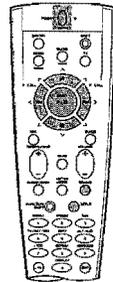
## 操作範囲のめやす

リモコンは2個の赤外線送信部を備えています。一方は長い距離にわたる直線方向に信号を送信して、本機やその他の機器を遠くからでも操作できるようになります。もう一方は近い距離で広範囲にわたって信号を送信するもので、リモコンを操作する機器にまっすぐ向けなくても、近くならば操作できるようにします。



# サラウンド再生の準備をする

本機では、より大きい文字で、より簡単に操作するためにOSD (On Screen Display) による操作を採用しています。ここではオンスクリーンディスプレイの操作のしかたを説明します。サラウンドの設定をする前によくお読みください。



：使用するキー、またはつまみなどを示します。

- 準備しましょう**
- POWERキーをオンにする。
  - ON/STANDBYキーをオンにする。
  - 接続しているモニターテレビをオンにする。

## OSD (On Screen Display) の使いかた

OSDでは、画面に表示される矢印のポインタを動かして、項目やマークを選び、画面操作を行います。

### 1 サウンド または セットアップ SOUND または SETUP キーを押す

SOUNDまたはSETUPキーのいずれかを押すと、自動的にオンスクリーンディスプレイ表示に切り換わります。

- オンスクリーンディスプレイがモニターテレビに表示されると、リモコンは自動的にOSDモードに切り換わります。

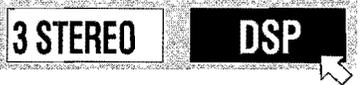
### 2 ポインタ(矢印)を動かす

キーの押しかたによって8つの方向に動きます。

ポインタを右に動かす例

>キーを押す

サラウンドメニューのDSPコマンドに矢印を動かした例

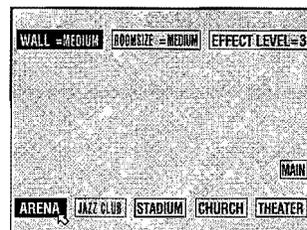


- キーを押した方向にアイコンがないときは、キーを押した方向に一番近いポインタが動きます。

### 3 選びたい項目を押す

- 項目を確定するには、ポインタを選びたい項目のところへ移動させてから、リモコンの中央にあるBAND (▶/■) キーを押します。

選ばれるとDSPメニューの画面になります。



### OSDモードを取り消すには

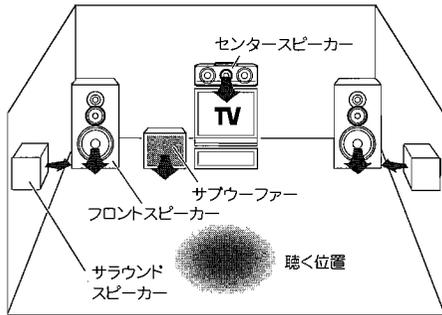
- 1 SOUNDキーまたはSETUPキーをもう一度押します。
- 2 OSDのリモコン操作モードを取り消すには、VIDEOまたはAUDIO、TVキーのいずれかを押します。

# サラウンドを設定する (サラウンドセットアップ)

本機では、さまざまなサラウンドモードを用意しています。

これらのサラウンドモードを最適の状態でお楽しみするために、必ずサラウンドセットアップを済ませてください。

## 1 スピーカーを設置する

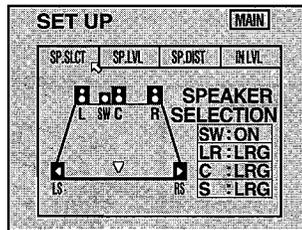


- フロントスピーカー：前面左右に設置します。モードにかかわらず必ず使用します。  
 センタースピーカー：前面中央に設置します。音像の定位を良くし、音の移動感を再現します。ドルビー3ステレオモードには必ず必要です。  
 サラウンドスピーカー：座る位置の真横または少し後ろで、聴く人の耳の位置より1メートルほど上方に、水平な状態で設置してください。音の移動感や臨場感などを再現します。サラウンド再生には必ず必要です。  
 サブウーファー：重低音を迫力ある音で再現します。

- すべてのスピーカーを設置すると理想的なサラウンド再生ができますが、センタースピーカーまたはサブウーファーをお持ちでない場合は、それらの信号を各スピーカーに割り振って、お手持ちのスピーカーで最適の再生を行います。

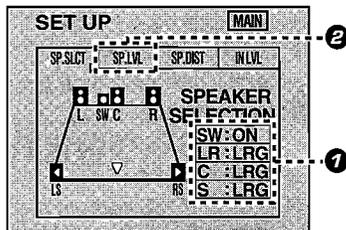
## 2 SETUP画面のSP.SLCTメニューを呼び出す

セットアップ      スピーカーセレクト



- MAINアイコンを押すと、サウンドメニューになります。

## 3 スピーカーを選び、スピーカーまでの距離を入力する



### ① 本機に接続しているスピーカーの種類を選ぶ

- ① ポインタを下のほうに動かす(アイコンが青くなります)
- ② TUNING/SKIPキーを使って、希望の設定にする
- ③ BAND (▶/◀) キーを押して、設定を確定する(アイコンが黄色くなります)
- ④ 手順②と③を繰り返し、各スピーカーの種類に合わせて設定をする

- 次の画面に進む前に全てのスピーカーの種類の設定を済ませてください。

### SW: サブウーファー

- ON: サブウーファーを使用する場合に選びます。
- OFF: サブウーファーを使用しない場合に選びます。

### LR: フロントスピーカー(左右)

- SML (小): 比較的小さなフロントスピーカーを使用する場合に選びます。
- LRG (大): 比較的大きなフロントスピーカーを使用する場合に選びます。

### C: センタースピーカー

- SML (小): 比較的小さなセンタースピーカーを使用する場合に選びます。
- LRG (大): 比較的大きなセンタースピーカーを使用する場合に選びます。
- OFF: センタースピーカーを使用しない場合に選びます。

### S: サラウンドスピーカー(左右)

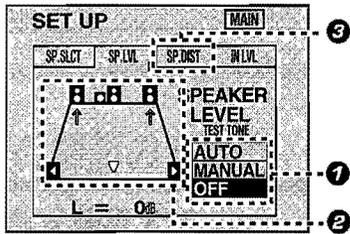
- SML (小): 比較的小さなサラウンドスピーカーを使用する場合に選びます。
- LRG (大): 比較的大きなサラウンドスピーカーを使用する場合に選びます。
- OFF: サラウンドスピーカーを使用しない場合に選びます。

スピーカーレベル

### ② SP.LVL画面に進む

## 4 各スピーカーの音量レベルを調節する

テストトーンを聞きながら、各スピーカーのテストトーンが同じ音量レベルになるように調節します。



### ① テストトーンの種類を選ぶ

- AUTO : テストトーンは通常の周波で各スピーカー間で切り換わります。
- MANUAL : テストトーンは選んだスピーカー(青色で表示)から発生します。
- OFF : テストトーンは停止します。

### ② 各スピーカーの音量レベルを調節する

- ① テストトーンを聞きながら、調節したいスピーカーを選びます。
  - 選んだスピーカーのアイコンは青色に変わり、調節可能であることを示します。スピーカー名とレベルが(画面の下に)表示されます。
- ② テストトーンを聞きながら、リモコンのTUNING/SKIPキーでスピーカーの音量レベルを調節(±10 dB)します。

TUNING/SKIP - : 音量を下げます。 TUNING/SKIP + : 音量を上げます。

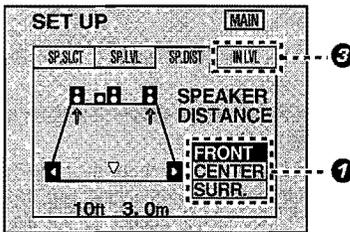
- サブウーファーは好みで調節してください。

スピーカーディスタンス

### ③ SP.DIST画面に進む

## 5 スピーカーまでの距離を入力する

聴く位置からフロント(左右)、センター、リア(左右)のスピーカーまでの距離を入力します。左右のフロント(またはリア)スピーカーが聴く位置から同じ距離にない場合は、近いほうのスピーカーまでの距離を入力します。



### ① スピーカーを選ぶ

スピーカー名が青色に変わります。矢印のアイコンが表示され、選んだスピーカーを示します。

### ② スピーカーまでの距離を入力する

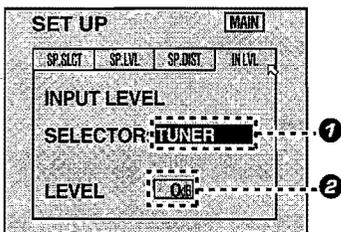
リモコンのTUNING/SKIPキーで、適切な距離を選びます。距離は0.0メートル(0フィート)から9.0メートル(30フィート)の範囲で、0.3メートル(1フィート)単位で調節できます。

インプットレベル

### ③ IN LVL画面に進む

## 6 接続した各機器のオーディオ入力レベルを調節する

アナログソースから入力されている信号が大きすぎると、本体のLEVELインジケータが点灯します。このような場合、この画面を使ってソースの入力レベルを下げます。



### ① 入力を選ぶ

- ① リモコンのTUNING/SKIPキーで、希望する入力を選びます。
- ② ポインタを下の方に動かします。

### ② 入力レベルを選ぶ

入力レベルは3段階に調節できます。リモコンのTUNING/SKIPキーで、LEVELインジケータを消灯させる最小のレベルを選びます(通常は0 dBに設定されています)。

0 dB ↔ -3 dB ↔ -6 dB

- 入力レベルの調整は、アダプター入力を使用しているときはできません。

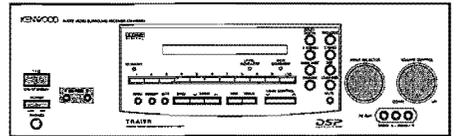
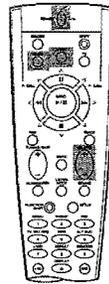
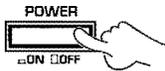
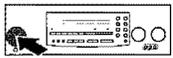
### ③ リモコンのSETUPキーを押して、オンスクリーンディスプレイを消す

### ④ リモコンのVIDEO、AUDIOまたはTVキーを押して、OSDリモコン操作モードを解除する

これでサラウンドの準備は完了です。

**準備しましょう**

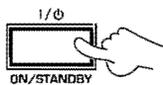
- 使用する関連機器の電源をオンにする。
- POWERキーをオンにする。



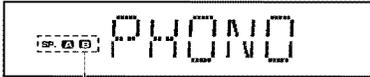
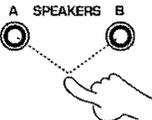
：使用するキー、またはつまみなどを示します。

## 普通の再生

### 1 電源を入れる

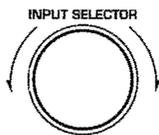


### 2 スピーカーシステムを選ぶ



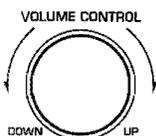
聴くスピーカーを点灯させる

### 3 聴きたいソースを選ぶ



### 4 選んだソースを再生する

### 5 音量を調節する



音量が下がる

音量が上がる

- A オン** : 背面のSPEAKERS A端子に接続されたスピーカーから音が出ます。
- B オン** : 背面のSPEAKERS B端子に接続されたスピーカーから音が出ます。
- A、B オン** : 背面のSPEAKERS A端子とB端子に接続されたスピーカーから同時に音が出ます。
- A、B オフ** : スピーカーからは音が出ません。ヘッドホンを使うときなどに使用します。再生モードにかかわらずステレオ再生になります。

- SPEAKERS AとBがオンのときにサラウンドモードにすると、SPEAKERS Bは自動的にオフになります。

次のように切り換わります。

- ① TUNER (周波数表示)
- ② "PHONO" ("PHONO"\*)
- ③ "VIDEO1" ("SAT"\*)
- ④ "VIDEO2" ("LD"\*)
- ⑤ "VIDEO3" ("VCR"\*)
- ⑥ "AV AUX"
- ⑦ "CD" ("CD"\*)
- ⑧ "TAPE/MD" ("TAPE"\*)

\*リモコンにセットアップコードを登録したときは、入力切替が登録した機種の表示に変わります。

例: VIDEO 1端子にビデオを確定すると、"VIDEO1"のかわりに"VCR1"が表示されます。 -[32]

- OSDモードがオンになると初期設定の入力名と機種(例えば"VIDEO1"VCR1)がオンスクリーンディスプレイに表示されます。 -[30]
- セットアップコードを登録した後でリモコンを使うと、セットアップコードを登録しなかった入力ソースは入力切替で選べなくなります("AV AUX"ビデオ入力を除く)。 -[33]
- 本機の前面にあるINPUT SELECTORで全ての入力を選ぶことができます。

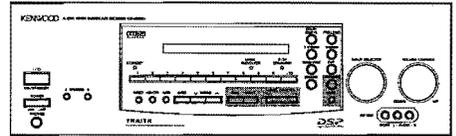
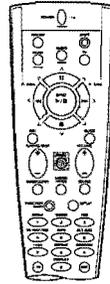
音量の表示



## 左右のバランスを調節する

テストトーンを使って調節してください。

-12-

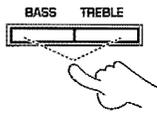
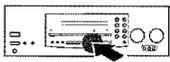


:使用するキー、またはつまみなどを示します。

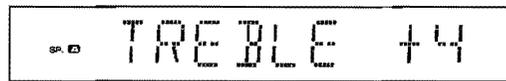
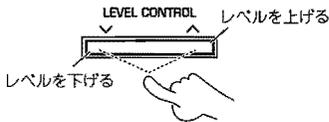
## 音の調節のしかた

## 音質を調整する

- ① BASSまたはTREBLEキーを押して、調節する音質を選ぶ

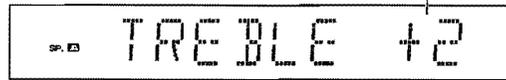


- ② 音質を調節する



"TREBLE"を選んだときの表示

表示された数値が変わる



- 低音と高音のレベルは-10から+10の範囲で2ステップごとに調節できます。

## 周波数を補正する (ラウドネス)

聴きとりにくい周波数をの音を強調します。周波数の強調のしかたは聴いている音量によって異なります。



LOUDNESS



元の音に戻すにはもう一度押します。

LOUDNESS

## 解除するには

もう一度キーを押します。

消灯

消灯

## 一時的に音を消す

スピーカーの音を一時的に消します。



MUTE



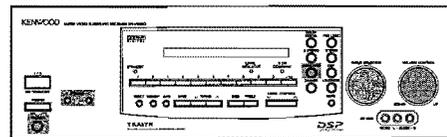
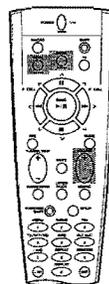
点滅

MUTE ON

## 解除するには

もう一度キーを押します。

CD



：使用するキー、またはつまみなどを示します。

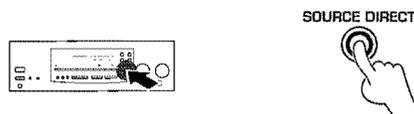
## ソースダイレクト再生をする

信号が他のオーディオ回路を通らずに、聴きたいソースから直接アンプに通ります。

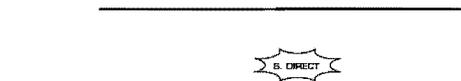
### ① 再生するソースを選ぶ



### ② SOURCE DIRECTキーを押す



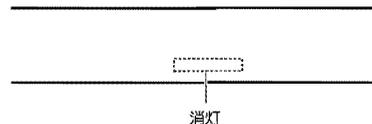
### ③ ソースを再生する



- ソースダイレクト再生中はトーンコントロールは働きません。
- STEREOキーまたはサラウンド再生に関するキーを押すと、ソースダイレクト再生は解除されます。
- 画面操作のS.DIR(ソースダイレクト)でも選ぶことができます(サウンドメニュー)。

## 解除するには

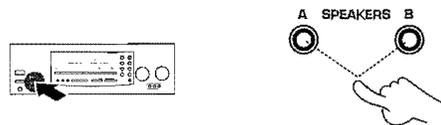
もう一度キーを押します



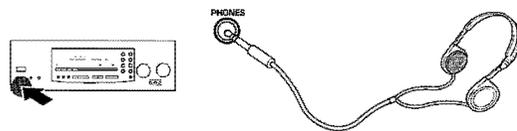
- サラウンドモード時に、ソースダイレクト再生を行ったときは、解除すると元のサラウンドモードに戻ります。

## ヘッドホンで聴く

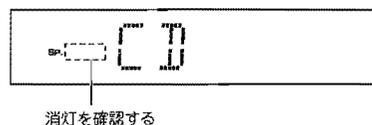
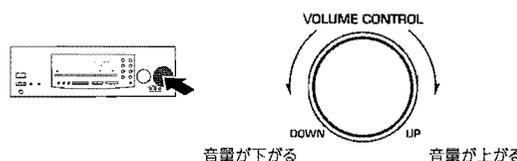
### ① スピーカースイッチをオフにする



### ② ヘッドホンをつなぐ

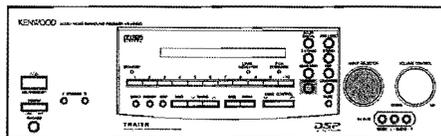
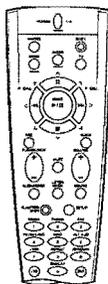


### ③ 音量を調節する



消灯を確認する

- サラウンドモード時にSPEAKERS AとBを両方オフにすると、各モードは解除され、ステレオ再生になります。



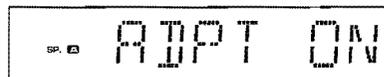
：使用するキー、またはつまみなどを示します。

## グラフィックイコライザーを使う

2秒以上<sup>ディマー</sup>DIMMERキーを押し続ける

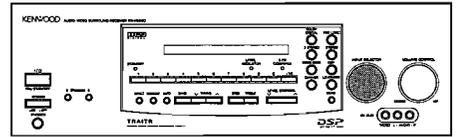
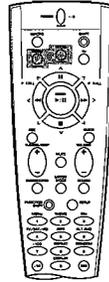


DIMMER



アダプター入力がオンになったあと、数秒間表示される

- 本機がこのモードになると、背面のADAPTOR OUTとIN端子に接続したグラフィックイコライザーを通して、オーディオ信号が出力されます。
- アダプター入力がオンになったとき、全体の音量が少し下がります。
- このモードを解除するには、同じ操作を繰り返して、"<sup>アダプターオフ</sup>ADPT OFF" を表示させてください。



■ :使用するキー、またはつまみなどを示します。

## 録音のしかた

### 音楽ソースを録音する

① 録音するソースを選ぶ

INPUT SELECTOR

TAPE以外を選びます。

② カセットデッキを録音待機状態にする

③ ソースを再生し、録音を開始する

- VIDEO 2または3端子に接続したデジタルソースを録音するには、**INPUT SELECTOR**で録音する機器を選び、**STEREO**キーを押します。デジタル録音中にボリューム以外のキーを操作すると、音声は途切れて録音される場合があります。

操作編

## 録画のしかた

① 録画するソースを選ぶ

INPUT SELECTOR

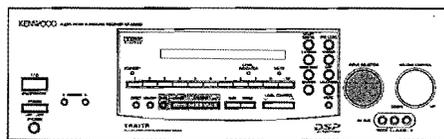
VIDEO 1以外を選びます。

② ビデオデッキを録画待機状態にする

③ ソースを再生し、録画を開始する

- VIDEO 2または3端子に接続したデジタルソースを録画するには、**INPUT SELECTOR**で録音する機器を選び、**STEREO**キーを押します。デジタル録音中にボリューム以外のキーを操作すると、音声は途切れて録音される場合があります。
- 本機前面のAV AUX端子は、ビデオカメラ(再生のみ)を接続するのに便利です。
- ドルビーデジタル(AC-3)のソースを録画するときは、**STEREO**キーを押して"2 CH DOWNMIX"インジケータを点灯させます。

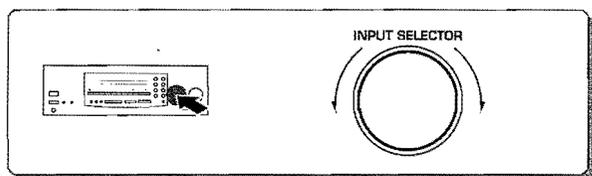
ラジオ放送を受信する方法です。放送局を最大40局まで記憶させ、ワンタッチで受信することもできます。本機は、AMステレオ対応です。スポーツ中継やドラマなどを臨場感あふれる音声で楽しむことができます。AMステレオによる新しい発見をお楽しみください。(雑誌、新聞などのラジオ番組表で確認してください。)



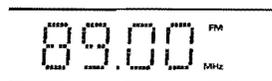
：使用するキー、またはつまみなどを示します。

## 放送を受信する

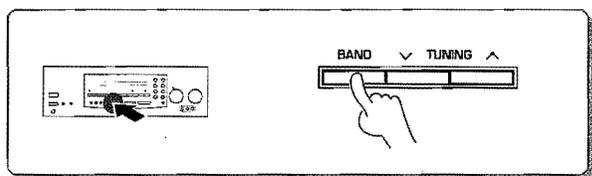
### 1 入力切換をチューナーにする



周波数表示



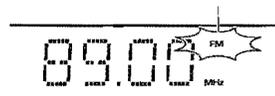
### 2 放送バンドを選ぶ



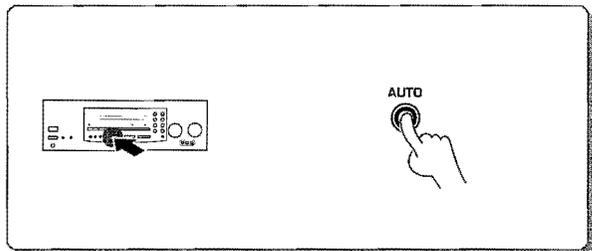
押すたびに切り換わります。

- ① FM
- ② AM

"AM"または"FM"が点灯



### 3 選局方法を選ぶ



押すたびに切り換わります

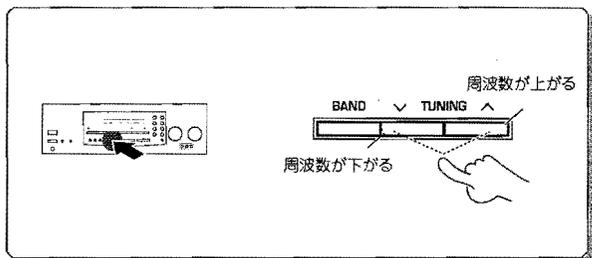
- ① AUTO点灯(オート選局)
- ② 消灯(マニュアル選局)



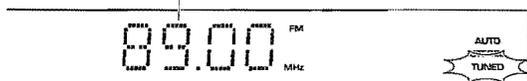
●通常は、"AUTO"(オート選局)にしておきます。

電波が弱く、雑音が多いときは、マニュアル選局にします。(マニュアル受信のとき、ステレオ放送はモノラル受信になります。)

### 4 放送局を選ぶ

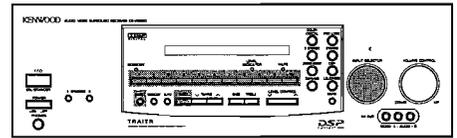


周波数表示



受信すると、"TUNED"が点灯

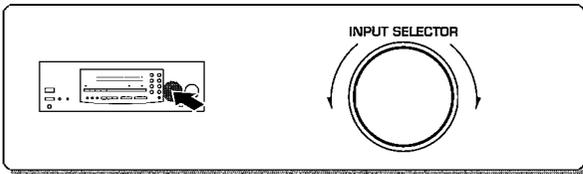
- オート選局のとき : 自動的に次の放送局を受信します。
- マニュアル選局のとき : 受信するまで繰り返し押します。または押したままにします。



：使用するキー、またはつまみなどを示します。

## 周波数を指定して受信する

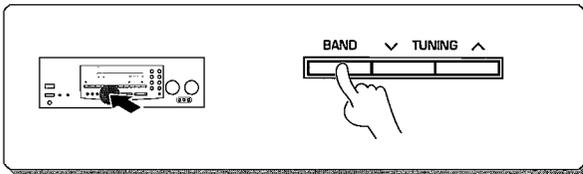
### 1 入力切換をチューナーにする



周波数表示



### 2 放送バンドを選ぶ



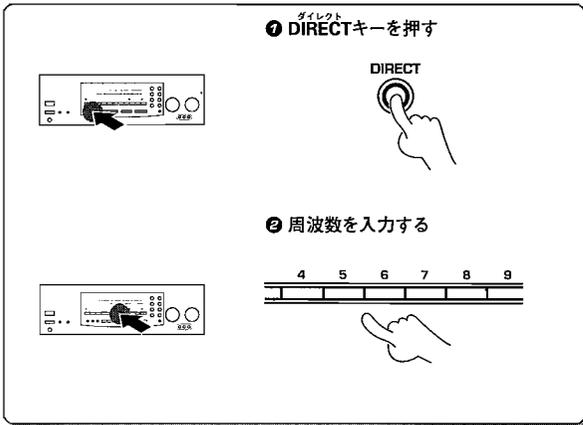
押すたびに切り換わります。

- ① FM
- ② AM

"AM"または"FM"の表示



### 3 周波数を指定する

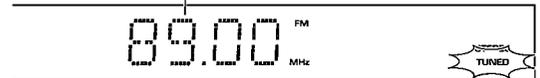


以下に従って、受信する周波数を数字キーで入力します。

周波数の入力例

- AM 810 kHz .... [8], [1], [0]
- AM 1260 kHz .... [1], [2], [6], [0]
- FM 90 MHz .... [9], [0], [0], [0]
- FM 102.5 MHz .... [1], [0], [2], [5], [0]

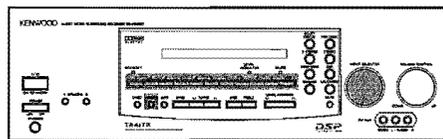
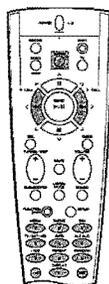
周波数表示



受信すると" Tuned"が点灯

- まちがえたときは、周波数表示が数秒間点滅します。このときは手順③からやり直します。

準備しましょう ●チューナーを選ぶ。



：使用するキー、またはつまみなどを示します。

## 放送局を記憶させる

① 記憶させたい放送局を受信する

② 受信中に<sup>メモリー</sup>MEMORYキーを押す

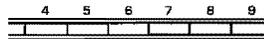
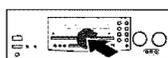


MEMORY



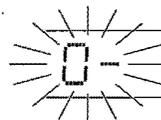
5秒以内に手順②へ  
(5秒以上たった場合はもう一度MEMORYキーを押します。)

③ 1~40のプリセットナンバーをつける



●放送局を記憶させるときに、受信状態によって、MEMORYキーを押してから、ディスプレイに"MEMORY"インジケーターが点灯するまでに少し時間がかかることがあります。

点滅(5秒間)



点灯(5秒間)



数字キーを押す順序は...

"15"に記憶させるとき... **+10**, **5**

"20"に記憶させるとき... **+10**, **+10**, **0**

- ①、②、③を繰り返して、それぞれの放送局を記憶させます。
- 同じ番号に重ねて記憶させると、新しい記憶内容に変更されます。

## 記憶させた放送局を受信する

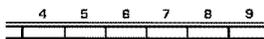
① チューナーを選ぶ



INPUT SELECTOR



② 目的の放送局のプリセットナンバーを選んでください。



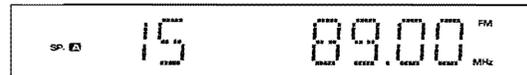
数字キーを押す順序は...

"15"なら... **+10**, **5**

"20"なら... **+10**, **+10**, **0**

- 10の桁を押し間違えたときは、+10キーを数回押し、元の表示に戻してから入力直してください。

プリセット番号が記憶されます



## 記憶させた放送局を順に聴く (P.CALL) プリセットコール

リモコンを使うときは、<sup>オーディオ</sup>AUDIOキーを押してチューナー操作モードを選んでください。



プリセット番号が増える(↑)

P. CALL



P. CALL



プリセット番号が減る(↓)

- キーを押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

▶▶キーを押すと

1→2→3→... 38→39→40→1→2→3→...

◀◀キーを押すと

1←2←3←... 38←39←40←1←2←3←...

押したままにすると.....約0.5秒間隔で、放送局をスキップします。

本機は、4種類のサウンドモードを持ち、いろいろな種類の映像ソフトで、臨場感をお楽しみいただけます。ドルビーデジタル(AC-3)サラウンドモードやドルビープロロジックサラウンドモードで、ドルビーデジタル(AC-3)とドルビープロロジックの映像ソフト(レーザーディスクやDVDなど)を再生すると、映画館にいるようなサラウンド効果が得られます。ドルビー3ステレオモードは、映画などのセリフを画面方向から聞こえるように保ちながら、前面の空間全体に広がりをもつサウンド効果を作ります。DSP(Digital Signal Processor)モードは、どんな種類のプログラムソースからも、さまざまな音響環境を再現します。サラウンドモードを最高の状態でお使いいただくため、ご使用前に、サラウンドシステムのセットアップを完全に行ってください。 - [15]

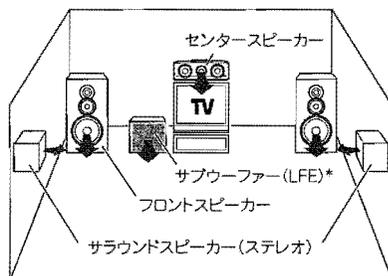
## サウンドモードの種類

### DOLBY DIGITAL (AC-3) サラウンドモード

ドルビーデジタル(AC-3)サラウンドモードでは、ドルビーデジタル(AC-3)プログラムソース( [DOLBY SURROUND] マークの付いたレーザーディスクソフトなど)からの5.1チャンネルのデジタル入力を、デジタルサラウンドサウンドでお楽しみいただけます。今までのドルビーサラウンドと比べて、ドルビーデジタル(AC-3)モードは、音質、空間的な広がり、そしてダイナミック域の面で、はるかに優れた効果を演出します。ドルビーデジタル(AC-3)プログラムソースの中には、夜遅くに演奏を聴くときに、サウンド効果を抑えるために、音質はそのまま、サウンドトラックのダイナミックレンジを圧縮する情報も記録されています。(ミッドナイトモード) - [29]

#### ご注意

5.1チャンネルのドルビーデジタル(AC-3)サラウンドサウンドを聴くためには、フロントスピーカー(左右)、センタースピーカー、リアスピーカー(左右)、サブウーファーを接続する必要がありますが、本機はフロントスピーカーだけを接続していても、ドルビーデジタル(AC-3)やドルビープロロジックがプログラムされているソースをお楽しみいただけます。(サラウンドセットアップ) - [16]

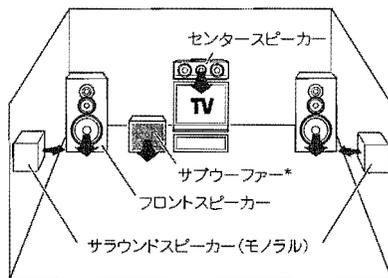


\* LFE = Low Frequency Effectsの略。このチャンネルは、サブウーファーに、指向性のない低周波数信号を送り、より深みのある低音の音場効果を再現します。

ドルビーデジタル(AC-3)サウンドトラックは、独立して低周波数チャンネルを持っていますが、サブウーファーを接続すると、他のサラウンドモードにおいても、低音の音質をよくすることができます。

### DOLBY PRO LOGIC サラウンドモード

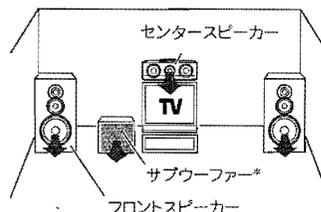
ドルビープロロジックプログラムソースは、特別な方法で記録された2チャンネルのサラウンドフォーマットで、 [DOLBY SURROUND] マークの付いたビデオや、レーザーディスクソフトなどがあります。ドルビープロロジックは、ドルビープロロジックプログラムソースからの信号を加工して、映画館にいるようなサラウンド効果を再現するように設計されています。本機は、ドルビープロロジックサラウンドデコーダーを搭載し、現在ご利用いただける、多種のドルビープロロジックビデオソフトをお楽しみいただけます。



\* このモードではオプションです。

### DOLBY 3 STEREO モード

ドルビー3ステレオは、セリフを画面あたりから聞こえるようにしたまま、前面の音場が広がるようなサウンド効果を演出します。このモードは、ドルビープログラムソースで再生できるように設計されていますが、ドルビープログラムソースでないものにもお使いいただけます。このとき、セリフが聞こえる位置や、音の広がりがたなどの効果が薄いです。



\* このモードではオプションです。

## DSPモード

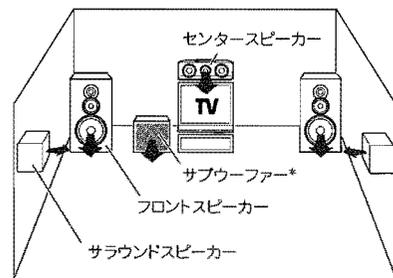
DSPモードでは、どんな種類のプログラムソースでも、劇場やジャズクラブ、屋外スタジアムの雰囲気を作り出します。このモードは、CDやテレビ、FM放送などのステレオのプログラムソースを聴くときに、特に効果があります。コンサートやスポーツ番組を見るときなどに、STADIUMモードやARENAモードでお楽しみください。

WALL: 音響環境の「透明度」を好みに応じて調節できます。 - [29]

ROOM SIZE: 音響環境の「大きさ」を好みに応じて調節できます。 - [29]

EFFECT LEVEL: 音響環境の「臨場感」を好みに応じて調節できます。 - [29]

\* DSPモードでは、モノラルソースからは疑似ステレオのサラウンド効果を再現しますが、劇場やジャズクラブ、競技場などの臨場感は弱くなります。



\* このモードではオプションです。

## DSPってなに?

デジタルシグナルプロセッサ (Digital Signal Processor) の略称。音の響きかたは様々な条件によって変化します。

DSPモードでは、DSPでデジタル処理することにより、音楽ソースの音質を損なうことなく、臨場感の決め手となる残響成分 (様々な空間における音の響きの要素) を作り出しています。

ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。"Dolby"、"AC-3"、"Pro Logic" およびダブルD記号  は、ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの商標です。

**DOLBY DIGITAL (AC-3)**は、**DOLBY SURROUND**マークの入ったLDソフト、DVDおよび**DOLBY DIGITAL (AC-3)**フォーマットのデジタル放送などに有効です。**DOLBY PRO LOGIC**または**DOLBY 3 STEREO**は**DOLBY SURROUND**マークの入ったビデオ(またはDVD、LD)ソフトの再生時に有効です。DSPモードは、すべてのソースに有効です。これらのサラウンドモードで再生を始める前に、必ず「サラウンド再生の準備をする」にしたがってサラウンドの設定を済ませてください。

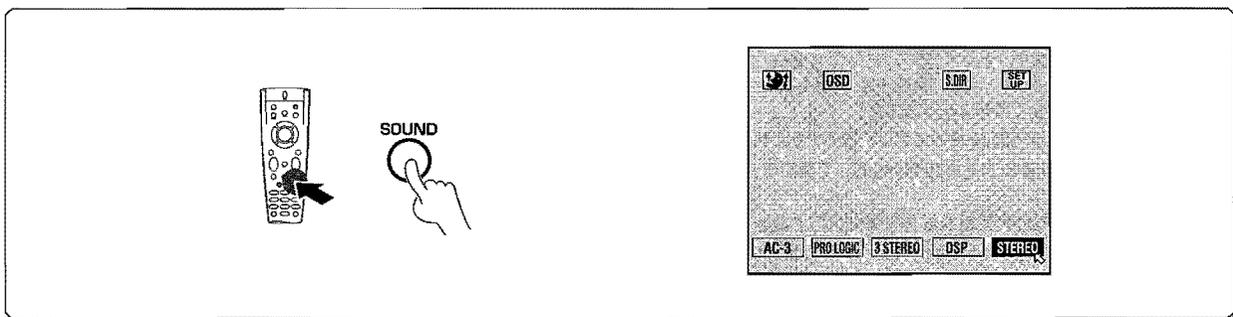
-[19]

### 準備しましょう

- 使用する関連機器の電源ををオンにする。
- サラウンド再生の準備をする。-[19]
- 再生したい入力切換を選ぶ。

## サラウンド再生

### 1 サウンドメニューを選ぶ



### 2 サラウンドモードを選ぶ

希望するモードのアイコンを選びます。選ばれたアイコンは、青色で表示されます。サラウンドモードの設定は、それぞれの入力で独立して記憶しています。サラウンドモードはリモコンのLISTEN MODEキーを使っても選ぶことができます。

-[20]

ミッドナイトモード -[26]  
ソースダイレクト -[30]  
セットアップメニュー表示 -[20]  
オンスクリーンディスプレイ -[20]

**DOLBY DIGITAL (AC-3)**  
ドルビーデジタル(AC-3)で処理された信号が入力されたとき、ドルビーデジタル(AC-3)サラウンドモードを選びます。このアイコンを選ぶには入力切換をVIDEO 2または3に設定しておいてください。通常のステレオソースが入力されているときに選ぶと、音は出ません。

**DSP**  
現在選ばれているDSPモードをオンにします。各DSPモードを調節できるDSP画面に切り換わります。

**DOLBY PRO LOGIC**  
ドルビープロロジックモードにします。このアイコンを選ぶには、サラウンドスピーカーを選んでおいてください。-[26]

**STEREO**  
サラウンド再生を解除します。ドルビーデジタル(AC-3)の信号が入力されると、前面の2 CH DOWNMIXインジケータが点灯し、信号が2チャンネルステレオにダウンミックスされます。

**S.DIR (Source Direct)**  
信号が他のオーディオ回路を過らずに、聴きたいソースから直接アンプに通ります。

**DOLBY 3 STEREO**  
ドルビー3ステレオモードにします。このアイコンを選ぶには、センタースピーカーを選んでください。-[26]

**3** リモコンの**SOUND**キーを押してオンスクリーンディスプレイを消してから、**VIDEO**、**AUDIO**または**TV**キーのいずれかを押して、**OSD**リモコン操作モードを取り消す

**4** ビデオソフトを再生する

**5** 音量を調節する

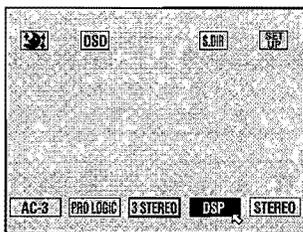


ドルビーデジタル(AC-3)サラウンドはもちろん、すべてのサラウンドモードをひとつの機器で楽しみたいときは、ドルビーデジタル(AC-3)フォーマットに対応した再生機器をご使用ください。このとき、ドルビーデジタル(AC-3)フォーマットのオーディオデジタル信号は、DIGITAL INPUT端子へ、通常のオーディオ信号はAUDIO端子へ正しく接続してください。

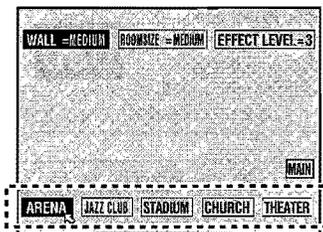
-[20]-[21]

## DSPモードを選ぶには

① DSPのアイコンを押す



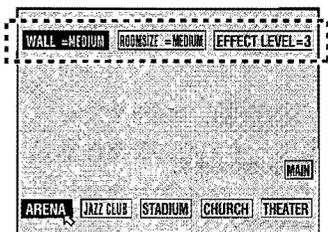
② DSPモードを選ぶ



アリーナ  
ARENA: 屋内のコンサートアリーナの臨場感を再現します。  
ジャズクラブ  
JAZZ CLUB: ジャズクラブの臨場感を再現します。  
スタジアム  
STADIUM: 屋外スタジアムの臨場感を再現します。  
チャーチ  
CHURCH: 天井の高い教会の臨場感を再現します。  
シアター  
THEATER: 映画館の臨場感を再現します。

## DSPモードを調節するには

ウォール タイプ、ルーム サイズ、エフェクト レベル  
WALLタイプ、ROOM SIZE、EFFECT LEVELを調節することで各種のサラウンド効果が楽しめます。



① 調節したい項目を選ぶ

ウォール タイプ  
WALL: 3種類の部屋の壁のタイプ(SOFT, MEDIUM, HARD)を選べます。  
ルーム サイズ  
ROOM SIZE: 3種類のルームサイズ(SMALL, MEDIUM, LARGE)を選べます。  
エフェクト レベル  
EFFECT LEVEL: 5種類の効果レベル(1, 2, 3, 4, 5)を選べます。

② リモコンのTUNING/SKIPキーでパラメーターを調節する

③ MAINを押してメインサウンドメニューに戻るか、またはリモコンのSOUNDキーを押してオンスクリーンディスプレイを消す

④ リモコンのVIDEOまたはAUDIOまたはTVキーのいずれかを押して、OSDリモコン操作モードを取り消す

## 便利な機能

### ミッドナイトモード(ドルビーデジタル(AC-3)モードのみ)

夜中に映画を見るときなど、音量をあまり上げられないことがあります。このモードを選ぶと、ドルビーデジタル(AC-3)の映像ソフトであらかじめ指定されている部分(急に音量が大きくなるシーンなど)だけを、音声信号レベルの上限から下限の幅を圧縮し、指定されていない部分との音量差を少なくします。これにより、小さな音量でもすべての部分が聴きやすくなります。お好みでお楽しみください。

① ミッドナイトモードのアイコンを選ぶ

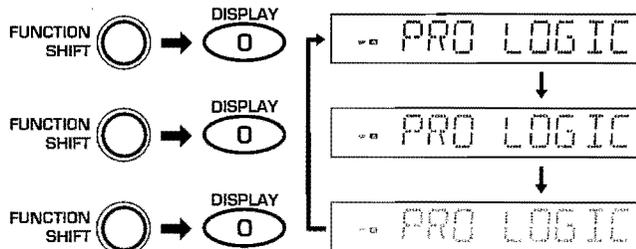
② リモコンのTUNING/SKIPキーを使って、パラメーターを調節する



- ドルビーデジタル(AC-3)の映像ソフトには、ミッドナイトモードに対応していないものもあります。
- ドルビーデジタル(AC-3)の映像ソフトで指定されていない部分はミッドナイトモードの効果はありません。

### ディスプレイの明るさを調節する

本体のDIMMERキーで、本機のディスプレイの明るさを選べます。部屋を暗くして映画を見たり、音楽を聴くときに便利です。ビデオ機器を操作するようにリモコンを設定した場合、FUNCTION SHIFTキーとDISPLAYキーを組み合わせると、それぞれのビデオ機器のディスプレイも変えることができます。



**OSD スイッチ**

番組を録画するときや、映画を見るときなどに、OSD 画面で操作状態を見たいことがあります。OSD 画面がオンのとき、リモコン操作はモニターテレビに表示されます。OSD 画面がオフの場合、SOUND キーまたは **SET UP** キーを押したときのみ、OSD 画面になります。

押すたびに切り換わります。



**SOURCE DIRECT スイッチ**

信号が他のオーディオ回路を通らずに、聴きたいソースから直接アンプに通ります。ソースダイレクトをオンにすると、サラウンドサウンドがオフになり、トーンコントロールが効きません。

押すたびに切り換わります。



**SET UP スイッチ**

必要に応じてセットアップ画面になります。セットアップ画面については「サラウンドを設定する(サラウンドセットアップ)」をご覧ください。

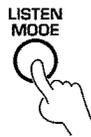
押すとSET UP画面になります。



**LISTEN MODE キー**

リモコンの **LISTEN MODE** キーで、サウンドモードをリモコンから直接切り換えます。

押すたびに切り換わります。



- ① STEREO
- ② AC-3
- ③ PRO LOGIC
- ④ 3 STEREO
- ⑤ ARENA
- ⑥ JAZZ CLUB
- ⑦ STADIUM
- ⑧ CHURCH
- ⑨ THEATER

**SUBWOOFER の調節**

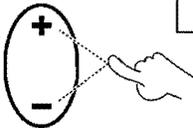
リモコンの **SUBWOOFER** キーで、お好みのソースを聞きながらサブウーファアの音量を調節できます。

最初に **SUBWOOFER** キーを押し、サブウーファア操作モードを選び、**VOLUME** キーで音量を調整してください。

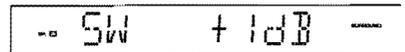
SUBWOOFER



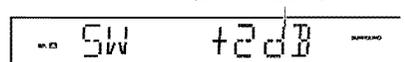
VOLUME



SUBWOOFER キーを押したときの表示



表示された数値は変化します。



本機に付属のリモコンで、他社製の機器でも、セットアップコードをリモコンに登録さえすれば、リモコン操作が可能になります。各機器で利用できる機能については、「他の機器をリモコンで操作する」をご覧ください。

\* 本機にシステムコントロール接続されたケンウッド製のオーディオ機器のセットアップコードを登録するときは、システムコントロール操作ができるように次のコードを使ってください：カセットデッキ：7000、CDプレーヤー：8099、MDレコーダー：9000。  
他のケンウッド製の機器(LDプレーヤーなどの、システムコントロールコードで接続されていないオーディオ機器)を操作するには、下記の手順に従ってください。

## 電池が消耗したときのご注意

操作できる距離が短くなったり、キーを押したときに5回リモコンのキーが点滅したら、4個とも新しい電池と交換してください。リモコンには電池を取り替えている間でも、セットアップコードのメモリーを保持するように設計されています。

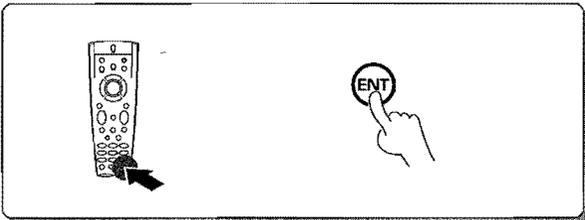
## 他の機器のセットアップコードを登録する

### 1 登録する機器のセットアップコードを探す

- 登録したい機器のセットアップコードを探すには、セットアップコード表をご覧ください。 - [46]
- 例：ケンウッド製のCDプレーヤーを登録する場合は"8037"と入力します。

入力	機器	メーカー	コード	キー
(CD)	CDプレーヤー	KENWOOD	8028, 8037	AUDIO
VIDEO 1				
VIDEO 2				
VIDEO 3				
TAPE/MD				
CD				
PHONO				
—	TV 1			
—	TV 2			
—	CABLE			

### 2 バックライトが2回点滅してから点灯した状態になるまで、ENTキーを押し続ける



この時、以前の登録に関わらず、すべての入力が利用できるようになります。



5秒以内に次の操作を行ってください。

### 3 登録したい機器を選ぶ



希望する機器が選択されるまで、繰り返しVIDEO、AUDIOまたはTVキーを押す

#### VIDEOキー

- ① VIDEO1 (SAT)
- ② VIDEO2 (LD)
- ③ VIDEO3 (VCR)

#### AUDIOキー

- ① CD (CD)
- ② TAPE/MD (TAPE)
- ③ PHONO

#### TVキー

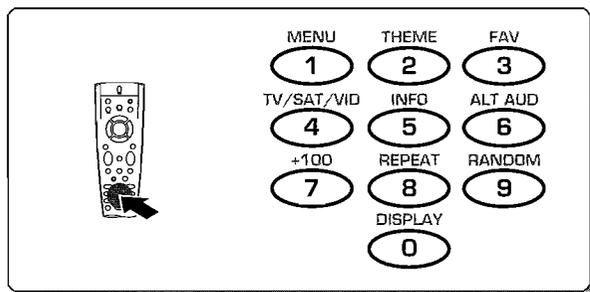
- ① TV1
- ② TV2
- ③ CABLE

例：VIDEO 1端子に接続している機器を選ぶには、「VIDEO 1(SAT)」を選びます。

SAT

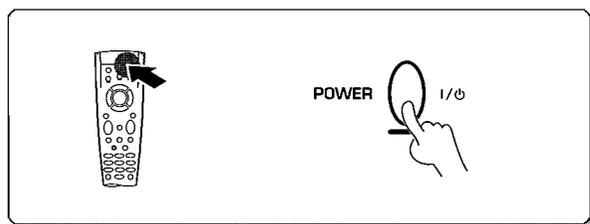
次ページに続く

## 4 セットアップコードを入力する



- 例:ケンウッド製LDプレーヤーを登録する場合は"5258"と入力します。
- 数字が入力されるごとにバックライトが点滅します。
- リモコンに入力されたセットアップコードが無効で、1回長く点滅した場合、コードが無視されたことになるので、手順4に戻ってください。
- 無効なキーを押した場合、リモコンのセットアップモードは解除されません。

## 5 POWERキーを押し、操作したい機器の電源が入っていることを確認する



- PLAYキーまたはTUNING/SKIP (+/-) キーはPOWERキーの代わりに使えます。
- 操作したい機器が反応しない場合や、複数のセットアップコードがある場合は、他のセットアップコードを入力してみてください。
- 操作したい機器にすでに電源が入っている場合は、POWERキーを押すと電源がオフになります。

## 6 ENTキーを押して、入力したコードを記憶させる



- このコードはそれぞれの機器に入力された前のセットアップコードと入れ替わります。

## 7 すべての機器が登録されるまで、手順3~6を繰り返し、追加したい機器を登録する

## 8 すべての機器のセットアップコードが登録されたら、バックライトが2回点滅するまで、ENTキーを押し続ける

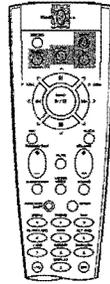


- リモコンで操作できない機器(レコードプレーヤーなど)をお持ちの場合、それぞれの入力に入力表示用のコードを登録する必要があります。これによって、リモコンの入力切換にそれぞれの入力を登録すれば、リモコンを使って選ぶことができます。詳しくは、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。入力表示用のコードについてはセットアップコード表の最初に載っています。 -[39]

- この操作は約3秒かかります。
- いったん登録されると、本機のディスプレイは初期設定の入力名の代わりにその機器の種類を表示します。  
例:VIDEO 1端子にビデオデッキを登録すると、"VIDEO 1 (SAT)"の代わりに"VCR"と表示されます。
- OSDモードがオンに設定されているときは、初期設定の入力名と機器の種類の方(つまり"VIDEO 1 VCR")がオンスクリーンディスプレイに表示されます。 -[39]
- 初期設定後は、セットアップコードまたは入力表示用のコードで設定されていないビデオ入力(VIDEO 1, 2, 3)またはテレビ入力(TV1, TV2, CABLE)は使用できません("AV AUX" VIDEO入力を除く)。入力表示用のコードが入力されなかった場合は、PHONO入力も取り消されます。
- 本機前面のINPUT SELECTORつまみでは、すべての入力を選択できません。



各セットアップコードは多数の機器で動作するように設計されていますが、機器によっては動作しないものもあります。(また、コードによっては、利用できる機能のうち、いくつかしか操作できないものもあります。)



：使用するキー、またはつまみなどを示します。

## 他の機器を操作する

登録した機器を操作します。

システムコントロール接続されたケンウッド製のオーディオ機器は、本機の電源と連動して電源をオンまたはオフします。

- [12]

① VIDEO、AUDIOまたはTVキーで、希望する機器を選ぶ

② SHIFTキーを押してからPOWERキーを押す (3秒以内に)

③ 操作したいキーを押す

●VIDEOキーまたはAUDIOキーを押すと、リモコンの操作モードと入力切換が操作したい機器に変わります。現在の入力を切り換えたくないときは、手順②の前にSHIFTキーを押してください。

- [34]

### VIDEOキー

- ① VIDEO1 (VCR 1)
- ② VIDEO2 (VCR 2)
- ③ VIDEO3 (LD)
- ④ AV AUX

### AUDIOキー

- ① CD (CD)
- ② TAPE/MD (TAPE)
- ③ チューナー
- ④ PHONO

### TVキー

- ① TV1
- ② TV2
- ③ CABLE

●SHIFTキーは選んだ機器の電源をオン/オフするときのみ押す必要があります。POWERキーをそのまま押すと、本機の電源をオン/オフしません。

●各機器で使用できるキーのリストについては「他の機器をリモコンで操作する」をご覧ください。

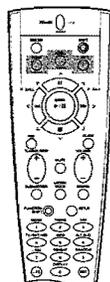
- [26]

別の機器を選ぶまで、リモコン操作モードは手順①で選んだ機器に設定されたままになります。



システムコントロール接続されたケンウッド製のオーディオ機器を操作するときは、本機のリモコン受光部に向けて操作してください。システムコントロール接続をしていないときは、リモコンを操作したい機器に向けてください。

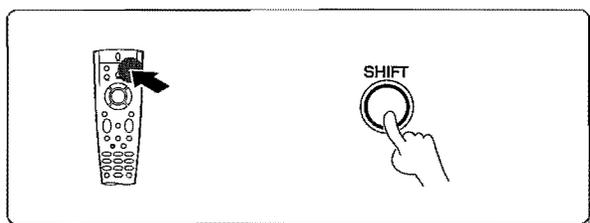
34 入力切替を切り換えしないで、リモコンの操作モードだけを切り換えます。  
1つの機器を使用しながら、他の機器を操作するとき(例えば、CDを聴いているあいだに、テープを巻き戻すときなど)に便利です。  
また、現在のリモコンの操作モードがわからないときは、以下の操作で希望の操作モードにすることができます。



■ : 使用するキー、またはつまみなどを示します。

## リモコンの操作モードを切り換える

### 1 <sup>シフト</sup>SHIFTキーを押す

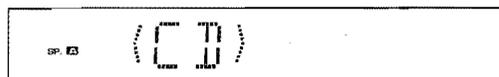
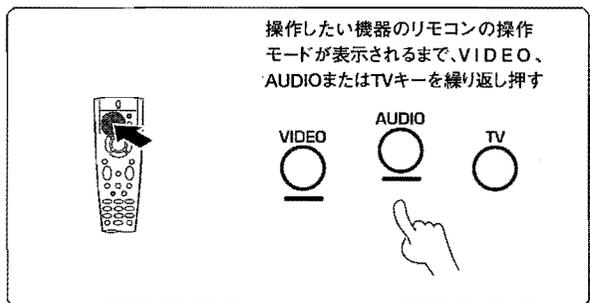


●テレビを操作するには、手順2から始めてください。



3秒以内に手順2に進んでください。

### 2 操作したい機器を選ぶ



操作される機器はカッコ内に表示されます。

- SHIFTキーを押してから他のどれかのキーを押すと、シフト機能は解除され、それぞれのキーの通常のコードが送信されます。
- この操作のあいだ、入力切替は変わりません。
- OSDモードがオンのときは、リモコンの操作モードがオンスクリーンディスプレイに表示されます。 - [39]
- SHIFTキーを押して約3秒以上たってからVIDEOまたはAUDIOキーを押すと、入力切替はリモコンの操作モードと共に変わります。

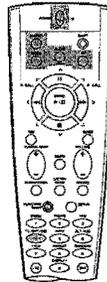
### 3 希望する操作を実行する

- 各機器で使用できるキーのリストについては「他の機器をリモコンで操作する」をご覧ください。 - [45]

手順2で指定された機器では、リモコンの操作モードが設定されたままになります。

元の機器を操作するには、SHIFTキーを押してから、VIDEOまたはAUDIOキーを押します。

マクロプレイ機能では、リモコンで複数の機器を連続して操作できるように設定します。この設定をした後は、一連の動作を自動的に行えます。前もって操作したい機器のセットアップコードを入力しておいてください。



■ :使用するキー、またはつまみなどを示します。

## 自動操作の準備をする (マクロプレイ)

### 1 マクロプレイの順番を考える

操作の順番が複雑で、設定中には、全部の手順を覚えていられない場合があります。あなたの登録したい順番を書き出しておきましょう。

①		⑪	
②		⑫	
③		⑬	
④		⑭	
⑤		⑮	
⑥		⑯	
⑦		⑰	
⑧		⑱	
⑨		⑲	
⑩		⑳	

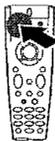
- 1つのマクロに20種類までの操作をメモリーできます。
- 下記は手順4の例です(合計9操作の例)

1 TV + SHIFT + POWER	3操作
2 FUNCTION SHIFT + 4	2操作
3 VIDEO + VIDEO	2操作
4 SHIFT + POWER	2操作

計 9操作

- 20種類以上の操作を登録しようとする時、リモコンが1回長く点滅し、マクロ設定モードは解除されます。
- 操作したい機器に付属のリモコンを使用している場合と同様に、チャンネル番号(モニターテレビなど)は正確に入力してください。

### 2 マクロ設定モードにする



バックライトが2回点滅するまで、  
MACROキーを押し続ける

MACRO

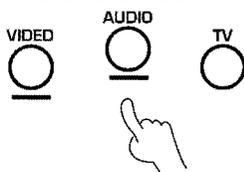


5秒以内に次の操作に進んでください。

次ページに続く

**3** マクロを登録するところを選ぶ

VIDEO、AUDIOまたはTVキーを押して、マクロを登録するところ(それぞれMACRO 1、2、3)を選ぶ



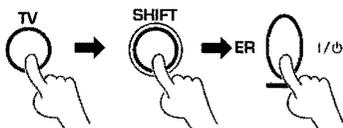
- 3種類のマクロを登録できます。各キーに1個ずつです。  
VIDEO → "MACRO 1", AUDIO → "MACRO 2", TV → "MACRO 3"
- マクロを選ぶと、バックライトが1回点滅します。
- VIDEO、AUDIOまたはTVキー以外のキーを押すと、マクロ設定モードは解除されます。

VIDEOを押した場合

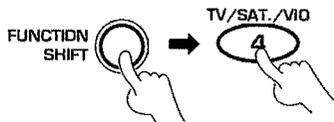
**4** 操作したいキーを順番に押す

例:

- ① テレビをオンするには、TV > SHIFT > POWERを押す



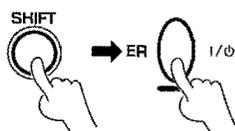
- ② テレビを適切なビデオ入力にするにはFUNCTION SHIFT > "4" (TV/SAT./VIDEO)を押す



- ③ VIDEO 2に登録されたLDプレーヤーを選ぶには、VIDEOを2回押す



- ④ LDプレーヤーをオンするにはSHIFTとPOWERを押す



- この例は、テレビの電源を入れ、テレビ側の入力を設定し、本機の入力切換をLDにし、LDプレーヤーの電源を入れる、という一連の操作を登録した例です。このような操作を登録しておく、ディスクを入れるだけでLDを再生できます。
- リモコンの操作モードを確認できるように、VIDEO、AUDIOまたはTVキーを押すと本機のディスプレイに選んだ入力名が表示されます。VIDEOまたはAUDIOキーを押すと、本機の入力も切り換わります。

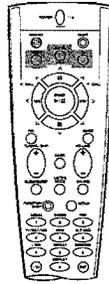
**5** マクロプログラムモードを終了する

MACROキーを押して、バックライトを2回点滅させる



- マクロは手順⑤で選んだところに登録されます。同じ場所に別のマクロが登録されていた場合は、前のマクロは消去されます。

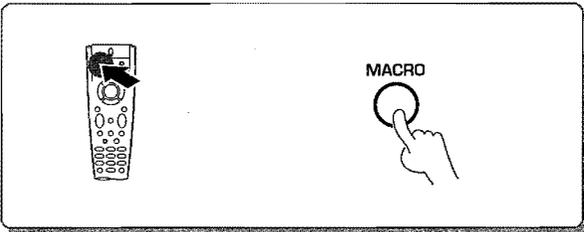
手順①～⑤を繰り返して、3種類のマクロを設定します



：使用するキー、またはつまみなどを示します。

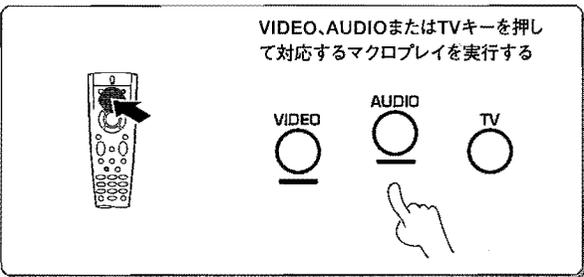
## 自動操作を実行する

### 1 <sup>マクロ</sup>MACROキーを押す



3秒以内に手順2に進んでください。

### 2 マクロプレイを実行する

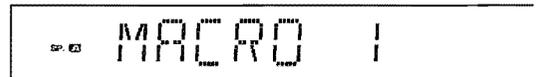


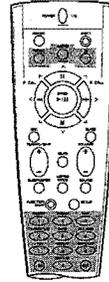
- 前面パネルの表示部とオンスクリーンディスプレイに"MACRO"が表示され、選ばれたマクロが実行されます。

VIDEO → "MACRO 1", AUDIO → "MACRO 2", TV → "MACRO 3"

- 各信号を送信するたびに、リモコンが点滅します。
- オンスクリーンディスプレイ上にマクロプレイの状態が表示され、確認することができます。
- 電源がオンになるのに1秒以上かかる機器もあります。マクロ機能は、電源がオンになってから機能するように設計されています。
- AUDIO、VIDEOまたはTVキー以外のキーを押すと、マクロ設定モードは解除されます。

VIDEOを押した場合





：使用するキー、またはつまみなどを示します。

## セットアップコードの削除・確認

### セットアップコードを削除する

- ① バックライトが2回点滅するまで、エンターENTキーを押し続ける
- ② 削除したい機器を選ぶ  
希望する機器が選ばれるまで、VIDEO、AUDIOまたはTVキーを繰り返し押しします。
- ③ 3桁のコード "991" を入力する
- ④ バックライトが2回点滅するまで、ENTキーを押し続ける

●この時、以前の登録に関わらず、すべての入力ができるようになります。

●例1: VIDEO 1端子に接続した機器の登録を削除するには、"VIDEO 1"を選びます。



各操作は5秒以内に実行してください。

●工場出荷時の状態にリセットするときは、手順①の後で "981" を入力してください。

### セットアップコードを確認する

- ① バックライトが2回点滅するまで、ENTキーを押し続ける
- ② 確認したいセットアップコードの機器を選ぶ  
希望する機器が選ばれるまで、VIDEO、AUDIOまたはTVキーを繰り返し押しします。
- ③ 3桁のコード "990" を入力する
- ④ 1キーを押し、バックライトが点滅する回数を数える  
これが4桁のセットアップコードの最初の数字です。
- ⑤ 2キーを押し、バックライトが点滅する回数を数える  
これが4桁のセットアップコードの2番目の数字です。
- ⑥ 3キーを押し、バックライトが点滅する回数を数える  
これが4桁のセットアップコードの3番目の数字です。
- ⑦ 4キーを押し、バックライトが点滅する回数を数える  
これが4桁のセットアップコードの4番目の数字です。

●セットアップコードを確認するために、"0"を入力した後すぐにバックライトが2回点滅します。

●バックライトが点滅しない場合は、セットアップコードの最初の桁は0です。

●バックライトが点滅しない場合は、セットアップコードの2桁めは0です。

●バックライトが点滅しない場合は、セットアップコードの3桁めは0です。

●バックライトが点滅しない場合は、セットアップコードの4桁めは0です。



各操作は5秒以内に実行してください。

# セットアップコード表

KR-V888D (J)

メーカー名が機類ごとにアルファベット順で並んでいます。

海外のメーカーも含まれているため、多くのメーカーがありますが、お手持ちの機器のメーカーおよびセットアップコードを探してください。

## 入力表示用のコード

CDプレーヤー	8900
カセットデッキ	7900
LDプレーヤー	5900
アナログプレーヤー	0900

衛星放送	2900
テレビ	1900
ビデオデッキ	4900

DVDプレーヤー	6900
MDプレーヤー	8900

## ビデオデッキセットアップコード

メーカー名	セットアップコード
Aiwa	4000
Akai	4041
Akiba	4072
Anam	4162
Anam National	4162, 4454
Baird	4000, 4041, 4104
Basic Line	4072
Bell & Howell	4104
Blaupunkt	4034, 4162
Brandt Electronic	4041
Broksonic	4121
Bush	4072
Canon	4035
Carver	4081
CCE	4072
CGE	4000
Cimline	4072
Colt	4072
Craig	4072
Crown	4072
Curtis Mathes	4041, 4060
Cybernex	4240
Daewoo	4045, 4046
Dansai	4072
De Graaf	4042
Decca	4000, 4081
Dual	4041
Dumont	4000, 4081, 4104
Dynatech	4000
Elcotech	4072
Emerex	4032
Emerson	4000, 4043
Ferguson	4041
Fidelity	4000
Finlandia	4081, 4104
Finlux	4000, 4042, 4081, 4104

メーカー名	セットアップコード
Firstline	4043, 4045, 4072
Fisher	4046, 4104
Fuji	4033
Fujitsu	4000
Funai	4000
Garrard	4000
GE	4035, 4060
GEC	4081
GoldHand	4072
GoldStar	4037, 4038
Goodmans	4000
Gradiente	4000
Graetz	4041, 4104
Granada	4046, 4081, 4104
Grandin	4000, 4072
Grundig	4034, 4072, 4081
Harley Davidson	4000
Harman/Kardon	4038
Harwood	4072
HCM	4072
Headquarter	4046
HI-Q	4047
Hinari	4072
Hitachi	4000, 4041, 4042
Hypson	4072
Imperial	4000
Interfunk	4081
ITT	4041, 4046, 4104
Jensen	4041
JVC	4008, 4041, 4067
Kaisui	4072
Kenwood	4038, 4041, 4067
KLH	4072
Korpel	4072
Leyco	4072
Lloyd	4000

メーカー名	セットアップコード
Loewe	4037, 4081
Logik	4072, 4240
Luxor	4043, 4046, 4048, 4104
LXI	4037
M Electronic	4000
Magnavox	4035, 4039, 4081, 4149
Manesth	4045, 4072
Marantz	4081
Marta	4037
Matsushita	4162
Memorex	4000, 4046, 4048, 4104
Memphis	4072
Metz	4162
MGA	4043
Minolta	4042
Mitsubishi	4043, 4067, 4081, 4173
Motorola	4048
MTC	4000
Multitech	4000, 4072
Murphy	4000
NAD	4104
NEC	4038, 4041, 4067, 4104
Neckermann	4081
Nikon	4034
Nokia	4041, 4046, 4048, 4104
Nordmende	4041
Oceanic	4000, 4041
Optimus	4048, 4104, 4162
Osaki	4000, 4072
Otto Versand	4081
Palladium	4041, 4072

## 40 ビデオデッキセットアップコード (つづき)

メーカー名	セットアップコード
Panasonic	4162
Pathe Marconi	4041
Penney	4038, 4042
Pentax	4042
Perdio	4000
Philco	4038
Philips	4081
Phonola	4081
Pioneer	4067, 4081
Proline	4000
Protec	4072
Pye	4081
Quarter	4046
Quartz	4046
Quelle	4081
Radio Shack	4000
Radiola	4081
RCA	4042
Realistic	4000, 4046, 4048, 4104
Rex	4041
Ricoh	4034
Roadstar	4072
Saba	4041

メーカー名	セットアップコード
Salora	4043, 4046
Samsung	4045
Sanky	4048
Sansui	4041, 4067
Sanyo	4046, 4104
SBR	4081
Schaub Lorenz	4000, 4041, 4104
Schneider	4000, 4072, 4081
Scott	4043, 4045
Sears	4042, 4046, 4104
SEI	4081
Seleco	4041
Sharp	4048
Shintom	4072, 4104
Siemens	4081, 4104
Singer	4045, 4072
Sinudyne	4081
Sony	4032, 4033, 4034
STS	4042
Sunstar	4000
Suntronic	4000
Sylvania	4000, 4043, 4081
Symphonic	4000
Tandy	4000, 4104

メーカー名	セットアップコード
Tashiko	4000
Tatung	4000, 4041, 4081
Teac	4000, 4041
Technics	4162
Teknika	4000
Teleavia	4041
Telefunken	4041
Tenosal	4072
Tensai	4000
Thomson	4041
Thorn	4041, 4104
Toshiba	4041, 4043, 4045, 4081
Universum	4000, 4081
Vector	4045
Vector Research	4038
Victor	4008, 4041, 4067
Wards	4000, 4042, 4048, 4072
XR-1000	4000, 4072
Yamaha	4038
Yamishi	4072
Yokan	4072
Zenith	4033, 4034

## テレビセットアップコード

メーカー名	セットアップコード
Admiral	1093
Anam National	1250
Candle	1186
Celebrity	1000
Citizen	1186
Electroband	1000
Fortress	1093
General	1186
Hitachi	1145
JCB	1000
JVC	1053
LXI	1156
Magnavox	1186

メーカー名	セットアップコード
Matsushita	1250
Megatron	1145
Memorex	1150
MGA	1150
Mitsubishi	1150
Motorola	1093
NAD	1156, 1166
NEC	1019, 1030, 1056
Noshi	1018
Optimus	1166, 1250
Optonica	1093
Panasonic	1250
Penney	1156

メーカー名	セットアップコード
Pioneer	1166
Proton	1031, 1178, 1466
Quasar	1250
Sharp	1093
Simpson	1186
Sony	1000
Soundesign	1186
Supreme	1000
Technics	1250
Teknika	1150, 1186
Toshiba	1156
Victor	1053, 1250

## LDプレーヤーセットアップコード

メーカー名	セットアップコード
Kenwood	5258
Mitsubishi	5059
NAD	5059

メーカー名	セットアップコード
Panasonic	5204
Pioneer	5059

メーカー名	セットアップコード
Quasar	5204
Telefunken	5059

## DVDプレーヤーセットアップコード

メーカー名	セットアップコード
Panasonic	6490
Toshiba	6503

## CDプレーヤーセットアップコード

メーカー名	セットアップコード
Aiwa	8124, 8157
Arcam	8157
AudioTon	8157
California Audio Lab	8029
Carver	8157, 8179
Cyrus	8157
Denon	8003
DKK	8000
Dynamic Bass	8179
Elektra	8393
Emerson	8305
Fisher	8048, 8088, 8179
Garrard	8393
Genexxa	8032, 8305
Goodmans	8305
Grundig	8157
Hitachi	8032
JVC	8072, 8655
Kenwood	8028, 8037, 8048, 8099, 8190, 8858, 8859
Krell	8157

メーカー名	セットアップコード
Linn	8157
LXI	8305
Magnavox	8157
Marantz	8029, 8157
Matsui	8157
MCS	8029
Memorex	8032, 8305
Meridian	8157
Micromega	8157
Mission	8157
NAD	8000
Naim	8157
NSM	8157
Onkyo	8101
Optimus	8000, 8032, 8037, 8179, 8305, 8468
Panasonic	8029, 8303
Phillips	8157
Pioneer	8032, 8305, 8468
Proton	8157
QED	8157

メーカー名	セットアップコード
Quad	8157
Quasar	8029
RCA	8053, 8179, 8305
Realistic	8179
Revox	8157
Rotel	8157
SAE	8157
Sansui	8157, 8305
Sanyo	8179
Scott	8305
Sears	8305
Sharp	8037
Sony	8000, 8185, 8604, 8605
Soundesign	8145
Tandy	8032
Teac	8393
Technics	8029, 8303
Universum	8157
Victor	8072
Yamaha	8036, 8187

## DAT デッキセットアップコード

メーカー名	セットアップコード
Carver	7158
Denon	7031
Grundig	7158

メーカー名	セットアップコード
Marantz	7158
Philips	7158

メーカー名	セットアップコード
Sony	7093
Technics	7158

## カセットデッキセットアップコード

メーカー名	セットアップコード
Aiwa	7029, 7197
Arcam	7076
Carver	7029
Denon	7076
Fisher	7074
Garrard	7308, 7309
Grundig	7029
Inkel	7071

メーカー名	セットアップコード
JVC	7244, 7273, 7274
Kenwood	7000, 7071, 7183
Magnavox	7029
Marantz	7009, 7029
Onkyo	7136
Optimus	7027, 7220
Panasonic	7229
Philips	7029
Pioneer	7027, 7220

メーカー名	セットアップコード
Revox	7029
Sansui	7009, 7029
Sony	7170, 7243, 7291
Teac	7308, 7309
Technics	7229
Victor	7244, 7273, 7274
Wards	7027
Yamaha	7094, 7097

## MD レコーダーセットアップコード

メーカー名	セットアップコード
Kenwood	9000, 9826
Sony	9490

## マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作（操作できない、ディスプレイの誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

電源プラグをコンセントに差し込んだままで、POWERキーをオフにして、ON/STANDBYキーを押しながら、POWERキーをオンにする。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

## アンプ部

症 状	原 因	処 置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スピーカーコードがはずれている。</li> <li>● 音量を最小にしている。</li> <li>● MUTEがオンになっている。</li> <li>● スピーカースイッチがオフになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「接続のしかた」をみて正しく接続し直す。 - [13]</li> <li>● 適当な音量にする。</li> <li>● MUTEをオフにする。 - [19]</li> <li>● スピーカースイッチをオンにする。 - [18]</li> </ul>
スタンバイインジケーターが点滅し、音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スピーカーコードがショートしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一時 電源スイッチを切り、ショートを取り除き、再度 電源スイッチを入れる。 - [13]</li> </ul>
スピーカーの片側から音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スピーカーコードがはずれている。</li> <li>● バランスが片側いっぱい絞られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「接続のしかた」をみて正しく接続し直す。</li> <li>● テストトーンを使って、スピーカーのレベルを調節する。 - [17]</li> </ul>
サラウンドリアスピーカーまたはセンタースピーカーから音が出ない、または音が小さい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リアスピーカー、センタースピーカーが接続されていない。</li> <li>● サラウンドモードになっていない。</li> <li>● リアレベル、およびセンターレベルが最小になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「接続のしかた」を見て正しく接続し直す。</li> <li>● サラウンドモードにする。</li> <li>● テストトーンを使って、スピーカーのレベルを調節する。 - [17]</li> </ul>
入力切換キーを PHONO にすると、ブーンという音が出る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プレーヤーのオーディオコードがPHONO端子にしっかりと差し込まれていない。</li> <li>● プレーヤーのアース線が接続されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オーディオコードをPHONO端子に完全に差し込む。</li> <li>● アース線を背面のGND端子に接続する。</li> </ul>
DVD プレーヤーで AC-3 のソースの再生を始めると最初の音がとぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● DVD プレーヤーの種類によって、いろいろな原因がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● DVD プレーヤーのなかには、最初の音がとぶものがある。</li> </ul>
DVD を再生しても、音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● PCMのソースが再生されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● STEREOキーを押す。</li> </ul>
ドルビーデジタル (AC-3) のソースをデジタル再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サウンドモードが "STEREO" に設定されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● DOLBY DIGITALキーを押して、ドルビーデジタル (AC-3) モードを選ぶ。</li> </ul>

## チューナー部

症 状	原 因	処 置
放送局が受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アンテナを接続していない。</li> <li>● 放送バンドが合っていない。</li> <li>● 受信したい放送局の周波数に合っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アンテナを接続する。</li> <li>● 放送バンドを合わせる。</li> <li>● 受信したい放送局の周波数に合わせる。 - [23]</li> </ul>
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自動車のイグニッションノイズ。</li> <li>● 電気器具の影響によるもの。</li> <li>● テレビが近くにある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外部アンテナを道路から離して設置する。</li> <li>● 電気器具の電源を切ってみる。</li> <li>● テレビから離す。</li> </ul>
プリセットしたあと、数字キーを押しても受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プリセットした放送局が、受信できない周波数である。</li> <li>● 長い間、電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 受信できる周波数の放送局をプリセットする。</li> <li>● もう一度プリセットする。</li> </ul>

## リモコン部

症 状	原 因	処 置
操作中にバックライトが5回点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電池が切れかけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 登録したセットアップ内容を消さないために、新しい電池と交換する。 -[34]</li> </ul>
サブウーファーの音量を調節できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サブウーファーがオフになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サブウーファーをオンにする。 -[38]</li> </ul>
リモコンを使って、特定の入力を選択できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各入力に対して、プリセットコードが登録されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● それぞれの入力に対するプリセットコードまたは入力表示用のコードを登録する。 -[31]</li> </ul>
リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リモコンが違った操作モードに設定されている。</li> <li>● 電池切れ。</li> <li>● 操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。</li> <li>● オーディオコードおよび、システムコントロールコードが正しく接続されていない。</li> <li>● 再生しようとする機器に、テープ、CDが入っていない。</li> <li>● 録音中のカセットデッキで再生しようとしている。</li> <li>● 操作したい機器の操作モードになっていない。</li> <li>● リモコンのマイコンが誤動作した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● VIDEO、AUDIOまたはTVキーを押して、適切な操作モードを選ぶ。</li> <li>● 新しい電池と交換する。電池を交換する前にバックアップが切れてしまった場合は、セットアップしなおす。 -[34]-[35]</li> <li>● 操作範囲内で操作する。</li> <li>● 「接続のしかた」をみて正しく接続し直す。 -[9]</li> <li>● 再生しようとする機器に、テープ、C D を入れる。</li> <li>● 録音が終わるまで待つ。</li> <li>● VIDEO、AUDIOまたはTVキーを押して、操作したい機器の操作モードにする。 -[33]</li> <li>● マイコンをリセットしてください。 -[38]</li> </ul>

## メモリーバックアップ

本機に通電されていない状態にしてから、約3日ほど経過すると、以下の内容が消えますのでご注意ください。

- パワーの状態
- OSDで設定できる内容
- 入力切換の設定
- ボリュームの値
- 受信バンド
- 周波数
- プリセット放送局

## オーディオ部

ステレオモード	
定格出力(EIAJ) .....	120 W + 120 W (20 Hz~20 kHz、0.08%、4 Ω)
実用最大出力 .....	140 W + 140 W (EIAJ、4 Ω)
サラウンドモード	
最大出力	
フロント .....	120 W + 120 W (1 kHz、0.7%、4 Ω)
センター .....	120 W (1 kHz、0.7%、4 Ω)
サラウンド .....	60 W + 60 W (1 kHz、0.7%、4 Ω)
全高調波歪率 .....	0.015% (1 kHz、60 W、4 Ω)
周波数特性	
CD .....	5 Hz~85 kHz、+0.5 dB、-3 dB
SN比	
PHONO(MM) .....	75 dB (IHF'66)
CD .....	95 dB (IHF'66)
入力端子(感度/インピーダンス)	
PHONO(MM) .....	2.5 mV / 47 kΩ
CD .....	200 mV / 47 kΩ
ADAPTOR IN .....	400 mV / 10 kΩ
出力端子(レベル/インピーダンス)	
TAPE REC .....	200 mV / 1 kΩ
ADAPTOR OUT .....	200 mV / 1 kΩ
プリアウト(センター・サラウンド) .....	1 V / 600 Ω
プリアウト(サブウーファー) .....	1 V / 1 kΩ
トーンコントロール特性	
BASS .....	±8 dB (100 Hz)
TREBLE .....	±8 dB (10 kHz)
ラウドネスコントロール特性	
(ボリューム -40 dB) ....	+7 dB (100 Hz)、+3 dB (10 kHz)

## デジタル部

対応サンプリング周波数 .....	32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
入力端子(感度/インピーダンス/波長)	
オプティカル .....	-15 dBm ~ -21 dBm、660 nm ±30 nm
コアキシャル .....	0.5 Vp-p / 75 Ω

## ビデオ部

信号方式 .....	NTSC方式
入力端子(感度/インピーダンス)	
VIDEO(コンポジット) .....	1 Vp-p / 75 Ω
出力端子(レベル/インピーダンス)	
VIDEO(コンポジット) .....	1 Vp-p / 75 Ω

## FM チューナー部

受信周波数範囲 .....	76 MHz~90 MHz
アンテナインピーダンス .....	75 Ω不平衡 / 300 Ω平衡
実用感度(モノラル) .....	1.6 μV (75 Ω) / 15.2 dBf (75 kHz DEV. SINAD 30 dB)
高調波ひずみ率(1 kHz)	
モノラル .....	0.6 %
ステレオ .....	0.7 %
SN比	
モノラル .....	75 dB (75 kHz DEV.、1 kHz、65 dBf 入力時)
ステレオ .....	68 dB (75 kHz DEV.、1 kHz、65 dBf 入力時)
実効選択度(±400 kHz) .....	50 dB
ステレオセパレーション(1 kHz) .....	40 dB
周波数特性 .....	30 Hz~15kHz、+0.5 dB、-3.0 dB

## AM チューナー部

受信周波数範囲 .....	531 kHz~1,602 kHz
実用感度(30%mod.、S/N 20 dB) .....	16 μV / (600 μV/m)
SN比(30%mod.、1 mVインプット)	
モノラル .....	48 dB
ステレオ .....	38 dB
ステレオセパレーション .....	30 dB

## 電源部・その他

定格消費電力(電気用品取締法に基づく表示) .....	250 W
ACコンセント	
連動コンセント .....	2(最大合計100 W)
最大外形寸法 .....	幅: 440 mm 高さ: 147 mm 奥行: 392 mm
重量(正味) .....	11 kg



これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。

各機器で使用できるリモコン操作の種類については下記をご覧ください。  
各機器のセットアップコードを前もって登録しておいてください。

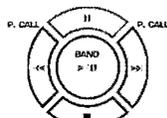
- ① AUDIO、VIDEOまたはTVキーで操作したい機器を選ぶ
- ② 希望する操作に対応するキーを押す(詳しくは、下記をご覧ください)

- キーを連続して押すときは、個々のキーをしっかりと押し、次のキーを押すまでに、少なくとも1秒間待ってください。
- 数字キーは元のリモコンの数字キーと同じ動きをします。
- FUNCTION SHIFT操作を実行するには、FUNCTION SHIFTキーを押しながら対応するキーを押します。

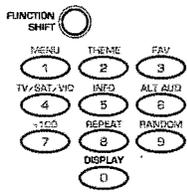


1. 各セットアップコードは多数の機器で動作するように設計されていますが、機器によっては動作しないコードもあります。(また、コードによっては、利用できる機能のうち、いくつかしか操作できないものもあります。)
2. 以下に各機器の主な機能を示してあります。機器によっては、同じような機能で、違ったキー操作になる場合があります。そこで、これらの機能も操作できるように、下記に示していない数字キーにこれらの機能を設定しました。お手持ちの機器に使用できる機能があるか確認するには、FUNCTION SHIFTキーを押してから、数字キーを押します。各キーでこの操作を繰り返してください。

## チューナー操作

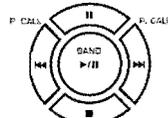


- チューニング → [23]    ▶/|| (BAND → [23])  
 ■ (AUTO → [23])  
 ◀◀ (P. CALL → [25])  
 ▶▶ (P. CALL + → [25])



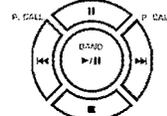
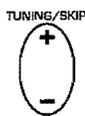
FUNCTION SHIFT コマンド  
 DISPLAY (ディママー → [29])

## カセットデッキ操作

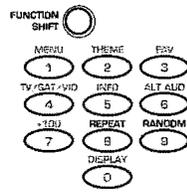


- + (▶再生)  
 - (◀再生)  
 ● REC (録音)  
 ▶/|| (▶再生)  
 || (一時停止)  
 ■ (停止)  
 ◀◀ (◀◀早戻し)  
 ▶▶ (▶▶早送り)

## CDプレーヤー操作

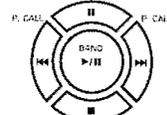
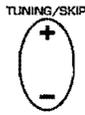


- + (DISC SKIP+) ▶/|| (再生、一時停止 {SL16})    数字キー  
 - (DISC SKIP-) ▶/|| (▶再生 {その他})  
 || (一時停止 {その他})  
 ■ (停止)  
 ◀◀ (頭出し)  
 ▶▶ (頭出し)

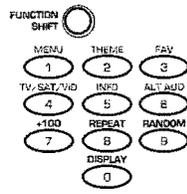


FUNCTION SHIFT コマンド  
 REPEAT (リピート)  
 RANDOM (ランダム)  
 DISPLAY (ディママー)

## MDレコーダー操作

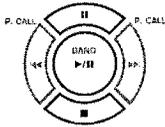
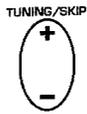


- + (▶▶サーチ)    ▶/|| (▶再生)  
 - (◀◀サーチ)    || (一時停止)  
 ■ (停止)  
 ◀◀ (頭出し)  
 ▶▶ (頭出し)

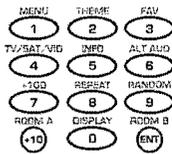


FUNCTION SHIFT コマンド  
 +100 (+100)  
 REPEAT (リピート)  
 RANDOM (ランダム)  
 DISPLAY (ディママー)

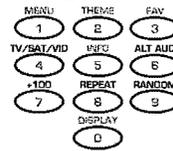
## テレビ操作



- + (チャンネル +)
- (チャンネル -)
- ▶/|| (ミュート)
- || (音量 +)
- (音量 -)

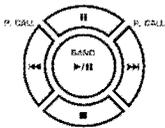


数字キー

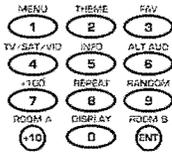


FUNCTION SHIFT コマンド  
 TV/SAT./VID (入力切り換え)  
 ALT AUDIO (音声切り換え)

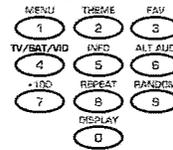
## ビデオ操作



- + (チャンネル +)
- (チャンネル -)
- ▶/|| (▶ 再生)
- || (一時停止)
- (停止)
- ◀◀ (◀◀ 早戻し)
- ▶▶ (▶▶ 早送り)



数字キー



FUNCTION SHIFT コマンド  
 TV/SAT./VID (入力切り換え)

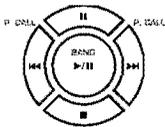
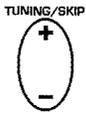


(● 録音)

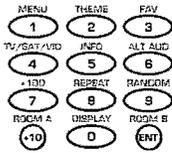


(OSD メニュー)

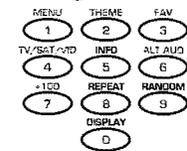
## LDプレーヤー操作



- + (A, A/B)
- (B)
- ▶/|| (▶ 再生)
- || (一時停止)
- (停止)
- ◀◀ (頭出し)
- ▶▶ (頭出し)



数字キー

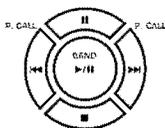


FUNCTION SHIFT コマンド  
 INFO (フレームタイム)  
 REPEAT (リピート)  
 RANDOM (ランダム)  
 DISPLAY (表示)

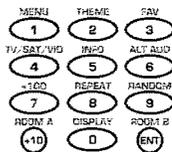


(OSD メニュー)

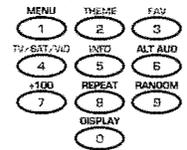
## DVDプレーヤー操作



- + (チャンネル +)
- (チャンネル -)
- ▶/|| (▶ 再生)
- || (一時停止)
- (停止)
- ◀◀ (頭出し)
- ▶▶ (頭出し)



数字キー



FUNCTION SHIFT コマンド  
 ALT AUDIO (音声切り換え)  
 +100 (+100)  
 REPEAT (リピート)  
 RANDOM (ランダム)  
 DISPLAY (表示)



(● 録音)



(OSD メニュー)

## 保証について

### 保証書

製品には保証書が別途添付されています。所定事項(お買い上げ日、販売店名など)が記載されていること、ならびに記載の内容を必ずご確認ください。大切に保管してください。

### 保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

### 保証期間内の場合は...

保証書の記載内容に従い、お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスステーション、営業所が無料修理いたします。修理の際は保証書をご提示ください。

- 電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間が過ぎている場合は...

お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスステーション、営業所にご相談ください。修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理します。

- ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。
- この期間は、通商産業省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理をご依頼になるときは

「故障と思われる症状ですが...」を参照してお調べいただき、なお異常があるときは、製品の電源をOFFにし、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスステーション、営業所にご連絡ください。

(別紙「全国サービス網」をご参照ください。)

### 持込修理と出張修理

「持込修理」「出張修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。

- 修理のために、セットを販売店やケンウッドのサービスステーション、営業所までお持ちになるときは、お買い上げのセット全部をお持ちください。(スピーカーは除きます)
- セットを修理に持ち込まれる際は、輸送中にキズが付くのを防ぐため、必ず包装してください。(お買い上げ時の梱包材の再使用が理想的です。)

出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名.....
- 製造番号(SERIAL No.).....
- お買い上げ年月日.....
- お買い上げの販売店名.....
- 故障の症状(できるだけ具体的に).....
- お客様の連絡先(お名前、住所、電話番号).....

修理料金のしくみ(有料修理の場合、これらの費用が必要です。)

- 技術料:故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代:修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料:製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。  
お客様相談室(東京) 電話(03)3477-5335 〒153 東京都目黒区青葉台 3-17-9  
(大阪) 電話(06)357-5335 〒534 大阪府都島区東野田町 1-20-5(大阪京橋第一生命ビル)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。